

記憶の教科書

～はじめに～

記憶の効果ではなく、スキルアップ

記憶に関するうまい話という事をみなさんは聞いたことがあると思います。そして多くの方は、記憶に関するうまい話などというものは、ないと思っています。ここで重要なことは、何がうまい話で、何がうまい話ではないかということです。

【機械的記憶法（日本実業出版）】の本にも書きましたが、基本的には人間は数万項目の記憶を構築しようと思えば、構築することは出来ます。私達は日本語を自由に操り、数万項目の記憶を持っていると言われています。

これだけの記憶を確保すれば、基本的には合格できないような試験はありません。一方ではこのような現実があって、そして、みなさんが危惧しているように、一方では、記憶に関するうまい話と呼ぶべき対象や、何でもかんでも記憶する事ができるというような話があるのも事実です。

私自身、かなり特殊な会社を経営しており、私の行っている事はかなり先進的なことで、事例がないことです。電話で、「この記憶方法は効果はありますか。」ということ質問される事があります。私はそのような質問をされた時に、大変強烈な違和感を感じます。(効果???)という風に思うのです。なぜならば、勉強方法や学習方法を改善するということは、効果がどうなのかという話とはまったく次元が違うことだからです。

例えばみなさんが、ピアノ教室へ行くとします。ピアノのレッスンを受けて、このレッスンは効果はありますかというのでしょうか。あるいは、みなさんが空手道場へ練習を行いに行くとして、この空手は効果はありますか、と聞くのでしょうか。もちろん聞かないはずですが。

人の技術の習得は、教える側と、教えられる側の相互関係の中で育まれるものであり、そして同時に技術を習得しスキルアップをしていくということは、当然のごとくその人の力が引き上がることとイコールだからです。技術を人が習得してその人の力が引

きあがらないということは基本的にはありません。

では何故、記憶に関しては、『この記憶方法に効果はありますか。』というような質問を多く的人是してしまうのでしょうか。その理由は、勉強方法や記憶方法を【総合的な技術】として捉えていないからです。ですから、まず記憶の教科書というタイトルで本書を執筆するにあたり、検討されなければならないことは、果たして人の学習は技術やスキルなのか、どうなのかということです。

はっきり結論から申し上げますと、学習スキルというものは明確に存在します。その証拠にみなさん、学習計画というものを思い浮かべてください。なんらかの試験を受験する場合の学習計画です。そして、思い浮かべた状態で、その試験を突破するための計画を自分の受験仲間や友達に聞いてみて下さい。多くの場合、勉強のアプローチや勉強の方法、何をいつやるのかというような勉強の戦略的な話も含めて全く違うということに気づくはずです。何故このような事が起こってしまうのでしょうか。それは、それぞれの人の頭の中に存在する、【勉強とはこうするべき】という考えが違うからです。もっと言い方を

変えれば学習スキルの力の差があるからなのです。

私がここで学習スキルと呼んでいるものは、単なる暗記のテクニックなどではありません。もっと総合的な学習に関するトータルな力の事です。ですから、当然学習スキルの中には自分を律する力も含みますし、モチベーションをコントロールする力も含みます。勉強をやる気にさせるように、自分を奮い立たせることが出来る人は、総合的な学習の力が高いということです。

それから、記憶に関する原理原則の知識がどのくらいあるのかということも学習スキルに含まれます。記憶はどのようにすれば根付くのかということを理解していない人は、勉強の計画が必ず狂います。私は【機械的記憶法（日本実業出版）】の本でも記憶に関する理論をいくらか書きましたが、とてもではありませんがページ数の制限があってすべてをお話することは出来ませんでした。

この～一瞬で思い出す記憶を作る～機械的記憶法という書籍はページ数が足りないので説明不足になることを出版社の編集者の方が懸念されて、何度も

編集者の方に岡山までわざわざ起こし頂き、打ち合わせをした書籍です。それくらいに記憶に関するスキルアップや学習全般に関するスキルアップをすることとはそこが浅いことではなく、そもそもが大変奥が深い事なのです。ですから、私はやる気に関してだけ話しても、合計で8時間くらい講義することが出来ます。ましてや、記憶の方法や、学習全般に関する良質な判断基準を作ることについてはもっと多くの時間を有することはいう間でもありません。

成績がいい人というのは、たいてい試験慣れ、勉強慣れしている人です。もちろん、試験慣れしているだけで、難関大学や難関試験に合格しているわけではありません。

しかし、この【試験慣れしている】という事は、優秀な人が持っている力全体の中で占める割合は、実質的に大変大きなものとなっています。

この【記憶の教科書】を読んでいるみなさんの中に大学受験の際に問題集を7周から9周おこなった人はいるでしょうか。全体の内80%くらいの方は

問題を7周から9周もしていないのではないのでしょうか。これは私が多くの試験の受験生をサポートしての感覚なのであまり大きな狂いはないと思います。多くの受験生は学校で勉強を頑張っ、帰ってある程度勉強する事によって、その時に自分についている学力（記憶量の総計）に基づいて志望校を決定します。そして、自分が頭がいいかどうかを判断してしまっているのです。そんな馬鹿げた事はありません。本書をお読みの皆さんも思い当たる節があるなあと感じていらっしゃる方も多いのではないかと思います。

そして、よくないことなのですが、通常学校の先生は学校の進学実績を重視する傾向にありますので、学力を引き上げてその人の目標を達成させてあげる事よりも、そのときの力で到達（合格）することの出来る大学を進めてとにかく進学させることを重視しがちです。

ですから、時として学校の先生はひどい人の場合は、生徒が何がしたいのかということよりも、学校の進学実績を重視することがあります。「おまえなんかその大学は無理だ」ということをいってしまう

ケースも（信じられませんが）あるようです。

このような悪循環があり、多くの人はどうにすれば目標達成することが出来るのかというよりも、自分の力はこの程度のものだというふうに思い込みで頭がいっぱいになってしまいがちです。これは、学習性無力感と呼ばれるもので単なる思い込みです。像が子供のときに足に鎖を付けられて育っていくと、成長してその鎖を引きちぎる力が十分にあってもその鎖を引きちぎる事ができないということがあります。これも学習性無力感のひとつの例です。

勉強慣れしている、していないというのは大変狭い範囲での学習スキルの話にすぎませんが、このような勉強慣れということを一とつとつてみても、試験に合格できるのか出来ないのかを決定づけてしまいます。

問題集を7周やったり、9周やったりして東京大学・京都大学・早稲田大学・慶應大学等に合格するのは珍しいケースではありません。そしてこのような勉強方法は、学習スキルという観点から見ると、レベルが高いの低いのかというと、どちらかという

とレベルの低いアプローチです。

なぜならば、イノシシのように無理やり力技で覚え込んでいるからです。【要は、問題集を7周から9周やって覚えこんだらいい】という事を知らない人も多いですし、そのようにすれば当然のように名門大学や、難関試験に合格していくということを知っている人も、そもそも少ないのです。

このようなことはあまり聞いたことが無いという方は、勉強法最強化PROJECT（エール出版）をぜひお読みください。開成高校から東大の法学部、鬼も裸足で逃げ出す旧司法試験に合格した石原弁護士が受験の実際と攻略法を詳しく書いてくださっています。

難関試験合格方法について、単純な暗記競争だということを知らないということは何を意味するのかというと、そういう実態があるんだね・・・ということだけを意味しているわけではありません。

このような些細でつまらない情報レベルの話であっても、多面的に【知らない】というだけで総合的

な学習スキルが低い人がたくさん存在するという
ことです。

多くの人はこのような勉強方法について、やはり直感的にいくらか知っていて、それで、書店に行き勉強本を探されているのだと思います。そしてそのような優れて知見やアイデア、勉強の方法あるいは心構えといったものを少しずつ学びながら、自分の試験合格に役立てようとしています。これ自体は大変素晴らしいことだと思います。このような判断を加えている時点で【勉強方法なんて知ってもそんなもので合格すれば誰だって司法試験に合格できるさ】と行って間違った判断をして、学力が上がらずに、試験に不合格になる人よりも、はるかに優れた判断をすでにしていると思います。

上記のような勘違いは、因子と成功原理の混同です。勉強法に詳しくないということや学習スキルが無いということは、あくまでも勉強の一つの因子にすぎませんから、必要条件であることは多くとも、十分条件ではないし、原理原則ではないので、勉強法に詳しくなれば誰でも成功するというわけではありません。しかし、学習スキルが低ければ、困難度

は引きあがります。

たとえ断片的ではあっても情報収集をしている人の方が部分的であっても、情報収集をしていない人や、はじめから判断が間違っている人よりも総合的な学習スキルの高くなる傾向があります。世の中では本をたくさん読む人が成功するとよく言われますが、それは本をたくさん読む人は頭の中によりたくさん判断基準を得ることが出来るからです。

しかしそのように、断片的情報をいくら集めてもみなさんは悶々とされているのではないのでしょうか。なぜならば、情報を完璧に網羅性がある形で過不足なく集めることは、実質的には非現実的ですし、本を書いている人は、そもそも学習スキルのプロフェッショナルである人は、ほとんど限りなくゼロに近いくらいの確率で、ないからです。

ですから、断片的に情報を集めることによって、多いに得をすることもありますが、気づいていないかもしれませんが、場合によっては間違った判断基準を提供されて逆に損をするケースもありますし、そのような間違った判断基準を金科玉条のようにし

てしまうと大きく学習効率を落とすことにつながるということもめずらしいことではありません。

たとえば、【機械的記憶法】の本の中にも私は書きましたが、記憶術というものには、基本的には大きなデメリットも存在します。ところが、学習スキルを向上しようと思って書店に行き、記憶術の本を手にとった方は、記憶術の本は多くの場合は、記憶術をマスターすることを目的としていますので、総合的に学習スキルを引き上げる事は目的となっておりません。その為、記憶術を使わなくてもいいようなところで記憶術を使ったり、全体の学習の中で記憶術をどのように位置づけるべきなのかという判断基準は全く提供されません。

その結果、うまく取り入れる人もいますが、うまく取り入れることが出来ない人も出てきます。そして、勉強をするときにうまく取り入れることができなかったのも、結局もとの丸暗記の勉強方法に戻っていたという話もよくききます。これではまったく意味がありません。

情報収集において重要なことは、情報を集める

ことによって人は得をすることもあれば、損をすることもあるということです。

難関試験に合格した人が書いた勉強本は書店にあふれていますが、彼らは全員スキルアップを専門とした仕事をしているわけではありません。

難関試験合格者は非常に頭がいい人が多いのですが、頭がいいからといって判断ミスをしないということはありません。かくして書店で売られている本というのはどのようなになっているかというと、軍隊の人が着ているような迷彩服のように正しい情報と間違った情報がそれぞれ有益な情報と有害な情報が迷彩服のように混ざりあって存在しています。

～試験慣れと勉強の成果の関係～

試験で合格になるか、不合格になるか決める大変大きな要因が勉強慣れしているかどうかです。勉強なれしているかどうかということは、学習スキルがあるかどうかということのほんの一部にすぎません。

たとえば、なぜ慶應大学は、公認会計士試験の合

格率が日本一なののでしょうか。司法試験の合格率で日本一になったことがあるのでしょうか。そして、常に司法試験の合格率がトップレベルなののでしょうか。それはここまででお話してきたとおりです。つまり、単に勉強慣れしている人がより多く集まっているからです。勉強なれというのはここまででお話したとおり、当然ですが、長時間勉強をする力も含みます。ですから、長時間・長い年月当然のように勉強し続ける力も含めて勉強なれという風に表現しています。

～試験の特殊性と勉強の成果の関係～

それでも皆さんの中には、いやそうではないんだという方もたくさんいるのではないかと思います。

（私が受験する試験は特別だ）と思っている方もたくさんいると思います。大半の人が実はこのように思うものです。そして大半の人は専用のサービスを求めるのです。しかし大切に考慮されなければならないことは、専用であるということがいったいどれくらいの比率で重要なことかということです。

私自身をこのような仕事をしていますと、常にこ

のような指摘は受けました。しかし私の実績はというと、難関大学や難関大学大学院、文系、理系、法律、医療などの資格試験にたくさん合格していただいています。

なぜこのような事になっているのでしょうか。

その理由は、【〇〇の試験だけが特別】という事は、ほとんどないからです。総合的な学習スキルが高い人は、司法試験でも合格しますし、医学部でも合格しますし、公認会計士にも合格しますし、税理士にも合格します。だからこそ東京大学の学生が、司法試験で全国でトップクラスの合格率を誇っているし、慶應大学の学生が公認会計士試験や司法試験で全国トップクラスの合格率を誇っています。

重要なことは、サービスがどれだけ専用か専用でないかということではなく、何度も繰り返しますが、学習スキルが高いのか、低いのかということです。それでも、(そうではない、私の受験する試験は特別だから) というふうに考えている人は多いと思います。そして『〇〇専用講座』というものに申し込み、何度か受験するんだけど、(少しも合格しないなぜだろう?) というふうになってしまうのです。そ

して多くの人が陥る間違いは、こんなに頑張ったのに合格できないのは、自分は頭が悪いに違いないと思ってしまうのです。

～自分の頭の良さと勉強の成果の関係～

合格できないのは、あなたの頭脳が他の人よりも劣っているからではありません。敗因の大きな理由は【総合的な学習スキルが低いこと（モチベーションのコントロール力や、現状認識の度合いも含む）】にあります。あなたが勉強に打ち込むことのできる時間を、どのように自分を律してモチベーションを引き上げて、よりたくさん勉強時間を確保できるかということも含めての、総合的な学習スキルです。これが高い人は、一日に10時間を3年間でも4年間でも続けることができますし、自分をコントロールすることができるので、少々の事でくじけて、後一步で合格するというところまで力をつけて、あきらめてしまうというような事はしません。したがって、あきらめずにチャレンジして当然ように合格していくのです。

私がお世話になっている税理士事務所の先生は、

20年間以上受験し続けたそうです。今では大変大きな税理士事務所を運営されており、たくさんの従業員を抱えて税理士の先生としてご活躍されております。試験はあきらめなければ受かるのです。私が行っているのは、そのような長期間のチャレンジにならなくとも、短期間で合格することができるようにサポートすることです。その総合的な学習スキルの中に、モチベーションを引き上げるというスキルも含まれているわけです。

このようにお話しても、(私の受験する試験は特別なんだ)とか、(私が受験する試験は簡単に試験ではないのだから当てはまらない) と思っている方もいらっしゃると思います。あなたがもしもこのように感じたら、なぜ人は情報集めて失敗するのか？目標達成論 (エール出版社) と、勉強法最強化PROJ ECT (エール出版社) をぜひ読んでみてください。

～確かな判断基準と勉強の成果の関係～

ここでご紹介した2冊は、あなたが、『総合的な学習スキルが大切だ』と認識した場合でも読んでください。私は、人生においてもっとも重要なことのひ

とつは、判断ミスを起こさないようにする事だと考えています。

私は小論文の講師もしており、日本で全国的に見ても小論文の指導でかなり際立った成果を出しています。小論文とは多くの人が勘違いをしているのですが、知識の量を試す試験ではなく、判断の力を試す試験です。総合的に思考した結果最終的に論述する際にどのように判断を加えて結論を出すかということ問う試験です。判断ミスを防ぐ最に重要なことは、見識です。頭の中で物事を論理的に考える際に、問題解決にあたってもっとも重要な事は、間違いのない原則的な思考の足がかりをつくることです。

もしもこのあたりの事情に詳しくなりたい人がいましたら、慶應小論文合格バイブル（エール出版社）という本をお読みください。この書籍は小論文の書籍であり、慶應大学進学支援本ですが、実際には、難関大学、大学院の小論文対策本になっています。思考の整理方法を詳しく書いた書籍です。

それでは、なぜ学習スキルが高いと合格しやすいのでしょうか。ここまでお読みいただいて、感じた

方もいらっしゃると思いますが、試験勉強をして合格する際には、その試験専用の勉強が重要だと多くの方が思っています。それからある人は、到達力が重要だと思っている人もいます。つまり東京大学や司法試験は、その到達できるレベルは極めて高くないといけないので、一般的な情報では参考にはならず、ハイレベルな情報が必要だと思込んでいる人もたくさんいます。ここで重要なことは【何がレベルが高く、何がレベルが低いのか】ということです。

少し心の中で考えてみてください。

この問いに答えられないということは、雑に考える⇨何も考えていなかったし、正確に実態を捉えきれていないということです。

多くの難関試験の受験生が判断ミスをおこす最大の理由はここにあります。自分が受験する試験そのものが、極めてハイレベルなのでハイレベルな内容が必要だと考えているのです。しかし何がハイレベルなのかについては、考察されることは基本的には全くありません。

それは、東京大学だからハイレベルなのであるという気持ちはわかります。その意見には、私は反対ではありません。あるいは、司法試験だからハイレベルなのであるという意見にも私は反対ではありません。そのことは十分承知しています。

それではハーバード大学の合格方法があったとして、このハーバードの方法のほうがハイレベルなのでしょうか。そんなことはないとあなたは思うかもしれませんが、ハーバード大学の大学院と司法試験と比べて、どちらがハイレベルなのか??というようなことを考えるのは少しも意味があることではありません。

つまりその問い（ハイレベルな試験にはハイレベルな何かが必要ではないだろうか？）そのものに意味がないのです。

ハイレベルかどうかということを思考の基準にしてしまうと、判断ミスを起こします。なぜならば、そのハイレベルということは、抽象的な概念であって原理や原則ではないからです。さらに言えば、ハイレベルかどうかというのは、世間基準の総合的な

難易度やランキングのことであり、細かな判断基準や評価基準に基づく客観的な定量的なものではなく、定性的なものだからです。つまり、定性的なものを頼りにして、雑に考えていると、実態を捉えられなくなるということです。

日常生活ではそれでもかまいません。しかし、あなたが人生の節目で何かにチャレンジをしたり、困難に立ち向かう時には、定量的な性質を持つ、客観的で確かな足掛かりが必要であり、実態に即して現実成果を望める考察が必要です。

あなたの人生はどうでもいいものでもないし、練習でもなく、本番であり、極めて重要なもののはずです。

私たちが物事を正確に考察しようとする時には、何が原則で何が実態で何が正確なのかをまず考えなければなりません。思考の足がかりは物理的に確かなものであったり、原則的なものであったり間違いのないものでなければなりません。

ただ単にハイレベルという抽象的な概念を思考の

足がかりにした瞬間に私たちは判断ミスを起こすようになります。そしてハイレベルということを重視して考察する時に考えなければならないのは、何がもっとも（記憶量について）到達性が高いのかということなのです。

※試験は記憶量で決まります。

つまり物理的に制限のある私たちの生活の中で【何をどのようにすればもっとも到達性が高くなるのか】ということが物理的に考察されなければならないということなのです。

私たちの時間は有限です。無限にあるわけではありません。ですから私たちは限られた時間とお金や労力という限られたリソースを投下して物事を達成する必要があります。このように考えたうえで、以下に詳しくなることが、判断力を引き上げる際に重要です。

- 1) 人の頭の中で記憶が根づく仕組み
- 2) 学習テクニックや、学習方法
- 3) 学習アプローチ
- 4) 学習や記憶に関する原理原則

5) モチベーションに関する各種理論と実際

これらを頭において、物理的に限界を迎えるようなコストパフォーマンスの高い、そして確実な到達性のレベルがもっとも高い学習方法論とはどのようなものか？と考察することが、もっともハイレベルな試験に対応する学習方法を考察する上でもっとも重要なことなのです。私はこのようなコンセプトで勉強法最強化PROJECTという本を書きました。

この本（勉強法最強化PROJECT）は、勉強学習効果最大化論なのです。人間が（個人が）持っているリソースをどのように投下すれば、学習効果が物理的に最大化するののかという事を論考した書籍なのです。そしてそのような論考が実態から乖離したものにならないように東京大学法学部を卒業して旧司法試験に合格して、弁護士で活躍されている石原先生と、国立大学医学部を卒業して医師として活躍されている斉藤先生と私の3人で書籍を執筆しました。

お子様の学習の為に信頼できる一冊を用意したいとお考えの方にはぜひ読んでいただきたい一冊です。

人の解釈で人生が台無しになる事 を防ぐ方法

今の時代は情報化社会です。ですから私達の周りにはたくさんの情報があります。当然ですがここまですべてお話したように、これらの情報は私達の人生にとって、大変有益なものの中にはあります。しかし、これらの情報は私達の人生にとって残念ながら有害なものもあります。なぜならば情報というのは、プラスの情報あればマイナスの情報もあるからです。これほどのようなことかということ、常に反対側の情報も存在するという事です。

～仮に面倒でも人生で一度は考えておくべきこと～

たとえば、学習方法に関していえば、英語を勉強するときは、音読をする方がいいという情報もあれば、英語は音読をせずに勉強をする方がいいという情報もあります。つまり正反対の情報が同時に存在しているということです。

みなさんはどちらが正しい情報と思われていますか。今回ご紹介したこの情報に関しては、どちらも正しいといえますし、間違っているともいえます。その理由は状況によってどちらがいいかは変わるからです。

また、その人が目指している目的によっても違ってきます。その人が英検1級に合格しようとしているのか、マークシートの試験で合格しようとしているのか、海外で生活しようと思っているのかによっても違ってきます。

またその前提となる事実（状況）違うことによっても、どちらがより正しい勉強法なのかは変わってきます。その人の英語の力が十分にある状態なのか、そうではないのかという事も大変重要なポイントです。

それでは私たちはこのような時に情報そのものをどのようにとらえればいいのでしょうか。このような判断基準をよりたくさん頭の中に作っていくという事が学習スキルを鍛えるということなのです。

私達は情報そのものを単体で捉えようとしてしまいます。しかし、ここまでご紹介したように、情報そのものを単体で捉えようとする、私達は判断ミスを起こしてしまいますし、情報の有益性も失われてしまいます。

それでは、私達はいったいどのようにすればいいのでしょうか。良質な判断基準を頭の中に総合的に作ればいいのです。つまり言い換えれば何度も繰り返しになりますが、学習スキルを引き上げる必要があるということです。また情報の中には、意味づけや解釈をしているものもあります。情報には、【事実と解釈】があるということです。情報というのはすべて事実であるわけではありません。人の解釈がそこに入り意味づけをしている情報も存在します。

たとえば私は、先日大手出版社の方と食事をしましたが彼からこのようなことを聞きました。食事の評価サイトを見てレストランに奥さんと一緒に行き食事をしたそうです。その評価サイトには、この店は味が薄いと書いてあったそうです。しかし実際に食事をすると、少しも味は薄くなかったそうです。このように、意味づけや解釈がされていると、この

情報は、常に正確なのかということとそうではありません。仮に事実をベースにしても、極端に拡大解釈されていたり、論理的に飛躍があったり、中には事実と乖離しているものもめずらしくありません。それでは、何を一番のベースとして考えればいいのでしょうか。もっとも重視しなければならないことは、事実か事実ではないのかということです。

ここまででお話したように、情報そのものは、事実と解釈を含みます。そして、あたかも事実のように書いてあったとしても、インターネットではそれが虚偽であることもありますし、極端に拡大解釈をされており、意味づけをされていることもめずらしくありません。通常物事を論理的に考えるときには、論理というのは完璧なものではないので、情報をグルーピングして、その情報が実証性をもち客観性をもつものでなければなりません。このようにグルーピングされて実証性の高いかたちで文章としてまとめられたものが論文です。

このような論文のようなロジックというのは、私達が生活する実社会にはほとんど存在しません。したがって私達は人の解釈をあたかも真実であるかの

ように思い込んでしまい、判断ミスをおこしてしまうのです。また論理が組み立てられていたり、理由が書かれていればそれが真実という事でもありません。ピラミッドストラクチャーというような論理を組むような典型的なテクニックを使って人は簡単に詭弁という嘘のロジックを組むことができます。このような嘘の論理を厳しく見抜く判断の力がなければなりません。しかし私達は忙しく生活をしており、これから勉強するみなさんがいちいちそのような判断基準を頭の中につくり、何が正しくて、間違っているのかという事をひとつずつ検証していくことはおそらくあまり現実的ではないと思います。それではどのようにすればいいのでしょうか。

繰り返しになりますが、まず、第一に事実と解釈を分ける事です。人の意見は間違った判断が加えられていることもあるので、意見ではなく事実を重視しましょう。第二に重要な事は、経歴で考えないということです。その人の経歴に頼って物事を判断すると正しい判断ができなくなります。

たとえば東京大学出身の人の意見の方が京都大学出身の人の意見より重視されるというような事はあ

ってはなりません。最初は、京都大学を卒業した人の勉強方法を信用したけれども、東京大学を卒業した人の勉強方法を読むとこちらのほうが正しいと思えてきたのでこちらに変えて、次にスタンフォード大学を卒業した人の勉強方法を読むと、やっぱりこちらのほうが正しいと思えてそちらに変えて、次にハーバード大学を卒業した人の勉強方法を読むとそちらのほうが正しいと思えてそちらに変えて、次にケンブリッジ大学を卒業した人の勉強方法を読むと、今年の世界大学ランキングの一位はケンブリッジ大学なのでその勉強方法が正しいと思えてそちらに変えました。というような事は間違ってもやってはいけません。

このようにお話すると、みなさんは大変馬鹿らしいと思うかもしれませんが、往々にしてハイレベルなのかハイレベルでないのかというようなことで人間は物事を判断しがちです。当然ですが、このような判断方法は正しい判断方法ではないですし、私達の解釈を捻じ曲がったものにします。そして判断ミスにつながることも多く、そのような判断ミスで人生を台無しにしてしまう可能性が高くなってしまふといわざるをえません。それではどのようにすれば

いいのでしょうか。

私はひとつの目安にしているのは、専門性です。星のことは占星術師に聞けとは昔からよく言われますが、やはりもちは餅屋なのです。あなたが、ジャングルへ行けば現地の原住民の知恵を借りるべきですし、海へ出て船で航海するのであれば、航海士の力を借りるべきです。東京大学の理系を受験するのであれば、東京大学の理系の科目の攻略法というような情報を東京大学の医学生がもし書いていればそのような特殊性の高い情報には、大変大きな価値があるといえます。

しかしここでお話したような人であっても学習スキル全般の専門家ではありませんから、同じように東京大学の医学部を卒業した人が10人集まれば、彼らがアドバイスする勉強方法という大きなテーマになったときは、みんな違う意見になりがちです。また、医師や弁護士になって社会で活躍している人は泥臭い勉強方法を本に書いたり指導するようなことをすれば、彼らの仕事に支障が出るかもしれませんので、基本的にはそのような情報が表に出てくるようなことはほとんどありませんし、いくら総合的

な学習スキルが高くなるかたといって、そのようなことを教えようという人も現れないということは考慮に入れておく必要があると思います。

ここまででお話したことは、情報の性質のお話です。情報にはどのような性質があつて、情報収集するときにはどのような原則を守らなければならないのかという事を少しだけお話ししました。ぜひ参考にしてみてください。

常識とは思考放棄のこと

本書をお読みの皆さんの中には、常識を非常に重要視する方もいらっしゃると思います。世間一般では受験に失敗したら、予備校に行くとか、中学生になったら塾へ行くのが当たり前というようなことが教育業界ではあるように思います。ところがこの常識は本当でしょうか。私は予備校の内容がよくないというつもりは全くありません。むしろ資格試験の予備校の価値は非常に高いと考えています。私がお

話したいのは、各サービスのそれぞれの評価基準からの価値ではありません。どのようなものであっても、必ず評価基準しだいで高い価値があります。ですから、〇〇がいいとか、××が悪いとかは話すことに何も意味がありません。私がお話したいのは、そのような世間一般にある常識によって、冷静な判断能力を失うことによってみなさんが大きく損をする可能性があることです。このことを考えるために、日本でもっとも東京大学に進学率の高い高校のことを考えてみましょう。

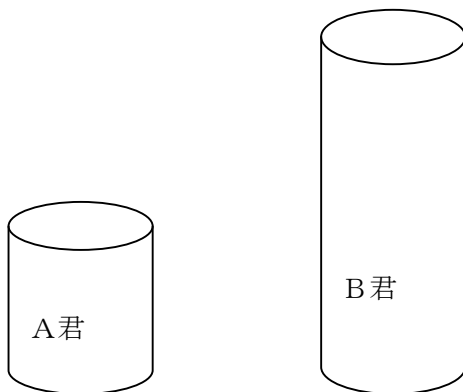
東京大学に進学率の高い高校は中高一貫校です。なぜこの中高一貫校は毎年東京大学への進学率が高いのでしょうか。その理由は、授業を早めに終わらせるからです。つまり、中学一年生から高校二年生までの間に、他の高校が高校三年生の終わりまでかけて行うカリキュラムの内容を消化してしまうのです。このようにすると、どのようなメリットがあるのでしょうか。早めにカリキュラムを終わらせることによって、高校三年生になった受験生は純粋に記憶作業のみに専念することができます。すでに学校で受験の範囲を十分に教えてもらっているのです。後はそれらを全部復習して、答案を再現できるように

なれば東京大学に合格できるわけです。つまり彼らは早めにカリキュラムを終わらせて、予備校に行ったり授業を受けるかわりに、記憶作業に徹しているのです。ところが世間一般の常識では受験に失敗すると、まず一番に予備校の利用をします。受験に失敗したので予備校を利用しているのです。これは、東京大学に進学率の高い高校の進め方と間逆の選択です。ではなぜこのような事をやっているのでしょうか。原理的に考えてみましょう。

原理的に考えれば、人間はこのように本を読んでいる間にも、今まで記憶してきたものを、いくつか忘れていっていますから、記憶作業だけに徹するほうが記憶量が増えるのは当然ですね。しかしこのように原理的にもものを考えたり、物理的にももの考えたり、ひとつずつ論理的にももの考えていくよりも、多く人は、世間一般の常識であるとか、普通はこうだ、というような事に反応してしまいがちです。だからうまくいかないのです。もっと細かくみていきましょう。

たとえば同じように浪人した受験生A君とB君がいます。一日の可処分時間が十六時間で、A君は予

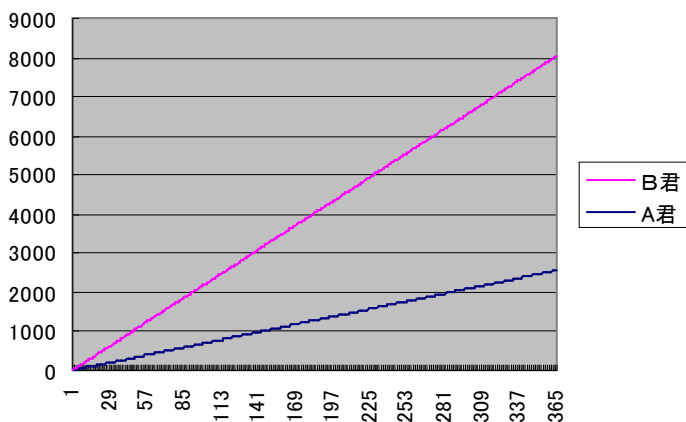
備校に行って八時間を使い、B君は予備校に行っていないので十五時間勉強したとします。A君は予備校に八時間使っているわけですから、一日の記憶作業時間は、予備校から帰宅してからみっちり行ったとしても七時間から八時間です。一方B君は、十五時間を記憶作業時間に使っています。この二人の記憶作業時間の差はどれくらいになるのでしょうか。



一日に七時間の差が平均あったとして考えても三百日で二千百時間の差がついているのです。つまり、どのような結果につながるのかというと、せいぜい

二千時間ほどの記憶作業の結果で受験する人と、四千時間くらいの記憶作業の結果で受験する人の差が生まれています。世間一般ではどのようにするべきなのか、普通はどのようにするのかばかりを気にしている人は、物事を一つ一つ丁寧に論理的に考えようとはなかなかしません。あなたは、あなたの倍記憶作業をした人と、ヨーイドンで試験で競争し、その差が一年間で二千時間ほど開いていたとして、その人に試験でその人に勝てる自身があるでしょうか。よほど頭がよくなければ、これだけ勉強時間が違って、相手に勝つということはなかなか難しいものです。

A君のB君の勉強時間の差をグラフにしてみました。



もちろん記憶を計画的に戦略的に学習プランを組み変えた場合はこの限りではありません。勉強時間が仮に少なくても、長期的にみて多くの記憶を残し最終的には、一日中記憶作業をしていた人に試験で勝ち抜くという事は可能です。ただ、原則としては、かなり厳しい戦いになるのは言うまでもありません。

弊社のウェブサイトで記憶の講座について推薦文を書いて下さっているニャロメさんという方も東京大学を受験するときは、高校を中途退学して受験し

たそうです。その理由は勉強時間を確保するためです。中高一貫校ではない高校に通っていたので、勉強の進度もゆっくり行われて、自分の知っているいる事や、本を読んで理解したほうが圧倒的に早いところなどでも、ゆっくり進められるのです。このような時間の使い方では合格できないと彼は判断しました。その結果高校を中途退学をして東京大学を受験したのです。もちろんこのようなケースは稀なケースです。このような真似をしましょう。とも私は全くいいません。

～勉強に関する常識を疑う～

ここまでで、私は何が言いたいのかというと、【常識を疑う必要がある】ということです。普通はこうするとか、世間一般ではこうするとかという考えは、それ以上何も考えたくないということです。世間一般で、普通にやっていることを、普通にやるとどうなるのでしょうか。そうすると多くの場合は、普通の結果に終わります。弊社で行っているようなスキルアップの教育支援というのは、大変新しいものです。ですから、このようにスキルアップに特化した会社というのは今までありませんでしたから、世の中か

ら理解されることはほとんどありません。よくわからないことをやっていると思われることも、正直に言えばあります。

弊社が行っていることは学習の最適化であり、ひとつひとつ論理的に考え、物理的に最適化される可能性を世間一般の大部分の人にあてはめておこなっているのです、際立った成果がでているのだと私は考えています。

世の中のほとんどの人は思考放棄をするので、逆に私は多くの人にとって大きなチャンスがある世の中になっていると考えています。もしも世の中の人々がみんな学習スキルに真剣に取り組むようになったら、どのようになるのでしょうか。一言でいうと、この日本で行われるあらゆる試験の競争の観点から見た試験の難易度が一気に引きあがります。なぜならば、それは車のレースに例えると、全員がフェラーリに乗っているようなものだからです。

ところが、今の現状はどうかというと、多くの方は、『自分のスキルを引き上げるなどという事は、(これは)効果があるのですか?』というような質問をするほどに旧石器時代の発想でもって、学習スキル

を見ているので、そのような事に真剣に取り組むような事を考慮にいたしていません。これが、逆にチャンスなのです。弊社で学習支援を行った人が、全国で10位以内に入ったりするようなことや、難関国立大学の大学院にほぼ首席で合格するようなことは何故起こるのでしょうか。

相対的に車に例えるなら、いい性能のいい車に乗り換えているだけなのです。多くの方は、スピードが出ない車に乗ってレースをしても、それが普通だからそれが常識だからと考えて真剣に早い車に乗り換えてレースをしようと少しも考えないのです。多くの方がこのようにしてくるからこそ、今の時代は難関試験であっても合格し易い状況になっている側面があります。

しかし、このような状況は永遠には続かないと私は考えています。今から、3年後、5年後、10年後世界はどのようになっているか分かりません。もしかすると、多くの方が学習スキルを改善する事に目覚めて徹底的に学習スキルを改善しようとしているかもしれないのです。そのような時に難関試験にチャレンジされる方は、私はどちらかという恵ま

れていないと思います。

多くの人が学習スキルのことをバカにしてそのようなものでうまくいくなら苦労しないという風に思考停止状態で一切物事を論理的に考えず、原理からも考察せず、常識を疑わず、他の人と、同じように考えて同じように行動して、同じように生産性の低い勉強に固執しているからこそ大変大きな飛躍のチャンスがあると私は考えています。

世の中にある難関試験はそのほとんどが競争試験です。60点以上とれば全員合格というわけではありません。合格者の数が最初から決まっており、その席を奪いあうような椅子取りゲームです。仮に●点以上取得すれば合格という試験でも、実質的な合格者が決まっているような法律試験の場合は、合格者と同じような答案を作った人が合格するという現象が起きており、やはりその意味で競争試験と言えます。(詳しくは瀬川先生との音声対談をお聞きください。この電子書籍でご紹介しています。)

このような大変厳しい闘いの中で、『あなたは、どのようにして合格しようとおもっていますか?』と

聞かれて、『ただ頑張る』と答えるだけでは、その段階で戦いは厳しいものとなりそうです。

自分が置かれた状況が厳しいときはまず戦略を立てなければなりません。戦略というふうに言うと女性の方は（なんともものものしい言い方なのか）と嫌な気持ちになるかもしれませんので、その場合は戦略というふうには考えず、状況分析というふうに考えて見てください。

～受験と将棋は通じるところがある～

将棋を一度でもしたことがある人はその将棋をイメージしてみましよう。手持ちの駒は基本的にはみな同じです。みな同じように時間が与えられています。時間が少ない人もいます。これは将棋に例えると飛車や角が抜かれているのと同じかもしれません。

しかし将棋をやった人なら分かると思いますが、必ずしも競争というのは、状況がいい人が勝つわけではありません。

例えば、受験勉強でいえば15時間勉強時間があ

る人が必ずしも合格するとは限らないのです。一日に7時間しか勉強が出来ない人が働きながら弁護士になるという事もよくあります。そのような人は、勉強を工夫して知恵を絞り状況を分析してどのようにすれば勉強時間が少なくても合格する事が出来るのかという事を真剣に考えていることが多いものです。戦略と言えば、ものものしいかもしれませんが、難関試験の場合、それは競争試験になっているので、例えものものしかつたとしても戦っていかなければなりません。

～受験の前の状況分析がカギ～

冷静に考えて何が自分にとって重要なのか、その状況をまずは細かく分析するところから初めてみましょう。そして状況を分析します。その時ただたんに分析するだけでは何も解決しません。分析だけが上手な人はなにも状況を改善する事が出来ないのです。

分析においてもっとも重要な事は結果に与える影響がもっとも大きい因子を発見する事です。少し言い方を変えると、本質的な問題を発見する事です。

人によって抱えている本質的問題は違います。ただ単に勉強時間が足りない事によって5年、10年と試験に落ちる人もいます。別の人は、判断がいつも間違っていて5年、10年と試験に落ちる人もいます。別の人は圧倒的に学習効率の悪い方法で勉強をしているので、5年10年と試験に落ちる人もいます。覚えては忘れ、覚えては忘れを繰り返す終わりのないモグラたたきゲームをしている人も世の中にはいるのです。

新しいことを覚えていくと、昔覚えた事は忘れていきます。このように覚えては忘れを繰り返していると、たくさんの量を覚えなければならない試験には永久に合格する事は出来ません。～一瞬で思い出す記憶を作る～機械的記憶法（日本実業出版）の本にも書きましたがこのような問題を根本的に解決する事を目的として、まず本質的に自分にとってなにが問題なのかという事を分析する必要があるという事です。

ただまんぜんと状況分析を行うと、たいていの人は何が良くないのか分からなくなることが多いので、まずは、【なぜ人は情報を集めて失敗するのか？目標

達成論】を読んでみてください。

スゴイ人の勉強法で何故うまくいかないのか。

世の中にはスゴイ人の勉強法の情報は溢れています。しかしそのようなスゴイ人の勉強に関する情報をいくら学んでも少しも成績は上がらなかったという話は星の数ほど存在します。なぜスゴイ人の勉強方法を教えてもらっても問題は解決しないのでしょうか。

その最大の理由の一つは教えている人がスゴイからです。ちょっと例を挙げてみます。

私自身三人兄弟の末っ子で一番バカでした。そして、本にも書きましたが、長男は秀才で学校でもいつも上位1%以内の成績で生徒会長をしていました。次男はIQが異常に高い天才肌の兄でした。県内でも有数の進学校に全く勉強しなくても合格し、テストでもいつも満点をとっていました。彼にとっては勉強はとっても簡単なものでしたので、数学の問題

一つとっても分からないものがなかったのです。つまり、異常に高いので物事の理解能力が他の人よりも大変高く勉強に苦労しないという事です。私は末っ子でしたので、天才肌の次男の兄に勉強で分からない事があつたら聞いていました。その時に大変兄に怒られました。なぜ怒られたのでしょうか。

兄はイライラするからです。何故こんな簡単なことが分からないのかと、私の兄は弟の私が、何がわからないのか、がわからなかったのです。つまり、頭がいい人というのは、(勉強においてスゴイ人というのは)、勉強の出来ない人の気持ちがまずわかりません。そして、自分はすべてが分かってしまうので、普通の人がいっただいどこで苦労するのか、何がわからないのかが分からないのです。このように世間一般の人がつまづくポイントがスゴイ人はわからないので往々にして情報はズレたものになります。ここが第一の、スゴイ人の勉強方法が多くの人の問題点を解決できないポイントです。

スゴイ人の勉強法が時にうまく問題を解決してくれない二つ目の理由は【本質的な問題点の解決】にあります。

【機械的記憶法（日本実業出版）】の本にも書きましたが、そもそも人間が抱える問題は、原理的にどのような問題であれ、本質的な問題を解決しなければ解決しない事がほとんどです。例えば、ダイエットを例にとってみましょう。

体重が百キロある人が毎日ハンバーグやステーキを食べていたとして、おやつをたくさん食べて、食事を、一日に四食から五食食べていたとしましょう。その人はどうすれば痩せる事ができるでしょうか。

良くあるパターンは筋肉がムキムキで、スラっとした美しい女性が出てきて、(ダンスの先生など) 筋肉をつけて痩せる方法を教えるようなダイエットのトレーニングです。このようなダイエットのトレーニングはそもそも美しい筋肉がたくさんある人が教えているので、間違いなく痩せることが出来ると多くの人は思いがちですが、本質的な問題として、体重が百キロある人は、食べる事によって体重は増えているので、少々の運動で痩せることは絶対にありません。

本質的な問題を解決せずして、表層面に現れている問題に対してだけ小さな改善策で何かを改善しようとしても【焼石に水】なのです。通常人間は一時間程度のジョギングでお茶碗一杯分程度しかカロリーを消費しません。ですから、一日に一千カロリー以上の理想的なカロリー摂取量を超えたカロリーを摂取した人が一日に三十分から一時間の運動が出来たとしても、どう物理的に計算して考えても痩せることは出来ないという事です。では彼はどうすれば痩せることが出来るのでしょうか。

～問題を解決する最低限の方法とは？～

彼が痩せる方法は一つしかありません。今食べ過ぎが問題で太っているのであれば、その本質的な問題の食べ過ぎを止めなければなりません。勉強もまったく同じです。勉強以外に人間が抱えるあらゆる問題がこのように原理的には通じることがあります。どのような問題であっても、対処療法で対処していても、いつまでたっても問題を解決することは出来ません。例えば、野良猫が迷い込んでしまって、その中で亡くなってしまって、死臭が漂ってしまった建物があるとします。この建物が死臭が漂って臭う

からといって芳香剤をたくさん買ってきても臭いは改善しません。もしもその臭いを改善したければ、本質的な問題である、野良猫の死骸を土に埋めてあげたり、火葬してあげたり等、その建物から出さなければなりません。

～一度勉強をするのをやめて考えてみる～

本質的に人がものを記憶出来ない理由は、徹底的な反復となる復習、(シナプスへの電氣的な刺激の回数)が出来ないからです。そしてもう一つの本質的な原因は、そのスピードが遅いからです。勉強が早いか遅いかという事を表面的に見てはいけません。勉強が横から見ていて遅いと思えるような勉強方法であっても、単位時間あたりのシナプスへの回数が速いような勉強方法は実は遅いようで、これは、単位時間辺りのシナプスへの電氣的な刺激を与える回数と言う観点で見ると速いと言えます。

一つあたりの記憶事項への接触回数が単位時間辺りどれくらいの密度なのか、という事が重要なのです。ですから、多くの方は早く勉強をしようと思えば、すぐに速読と誤ってしまいがちですがそうでは

ありません。速読は一つの記憶事項に対して、単位時間辺りに接触するスピードを引き上げる多くある方法の一つにすぎません。この点を間違えないようにしましょう。

第二章

記憶のポートフォリオを組む

本章の推奨年齢17歳以上です。若い方も読んで大丈夫ですが、分かりにくいかもしれません。

ここから先では、記憶塾のDVDの内容をご紹介致します。

記憶のポートフォリオを組む

こんにちは！

ディジシステムの牛山です。

今日は、記憶作業のリスクとリターンでポートフォリオを組む、というちょうど訳の分からないタイトルの内容になっています。

この講座は（特定の人にはもしかしたら無料で配るかもわからない講座なのかなあ〜）と思いながら収録の方をするんですけども、どうして補講みたいな形で収録しないといけないかなと思ったかというとですね、チョイチョイ勘違いしている人が、わりと多いのかなとゆうことに最近気がつきまして、こういう補講という形で講座を収録しようかなと思

いました。これは、記憶塾の講座でもあるんですけどもね。

まず、ポートフォリオというのはなんぞやということからお話しとかないといけないと思います。

ポートフォリオというのは金融商品などを分散投資してリスクを減らす事、あるいは、そういうリスクを減らされた組み合わせの事ですね。組み合わせです。

ふつうポートフォリオと言う言葉は普通に生活してたら使う言葉ではないんですけど非常に重要な考え方です。

もう一つ最初にお話しとかないといけないのは、勘違いしてしまうと極端に学習効果が、著しく落ちてしまうからなんです。

だから、勉強を確実に着実に進めていっているのに、途中であれ、これおかしいんじゃないかなあと思ってしまうと、(俺がやって来たことは、これでいいのか?)と変な風に考え初めて迷いが発生して判

断が狂ってしまう事があるからなんですよ。

目標達成論読んだ方は、判断が狂うと人生が狂うというメカニズムを学んだと思うんだけど判断が狂うと本当に人生狂ってしまいますので、これはいかんなどということはいちいち理由を説明しないよと昔は言っていたけど細かく説明しようということになりました。

話を戻すと、ポートフォリオということを先ほどお話したでしょう？ポートフォリオの説明はしました。つまり分散作業をするということなんですね。でね、勉強と何の関係があるのかというと、これも先にちょっと話しておかないといけないんですけど、あのね、勉強というのは結局、時間を、勉強時間を投資してその学習効果っていうリターンを得るという事の繰り返しなんですよ。

例えば、30分間計算ドリルに投資して計算問題に強くなるとか、計算になれるというリターンを得るとかね。1時間漢字の書き取りに投資してね、で、何個かなあ100個か200個位漢字の記憶を得るというリターン、効果を得るという事の連続に他な

らないんですね。だから、3時間英単語を覚えて、英単語を100個位覚えるとかね、わかんないけど数はね。今、数は適当に言ったんですけども、つまり時間を投資してリターンを得るといふ事の作業に他ならないでしょう。という話なんですよ。

勉強法とか、勉強方法を教えてください。とか、東京大学合格した人に、東京大学受験するに当たって、やり方を教えて下さい。とか、つまりどういゆうことをやっていけばいいですかって事を質問される方ってやっぱり多いんですね。それは、つまり何に投資したらいいですかって話ですよ。だから、どの本を読んだらいいですか、どの本を読むことに僕は時間を投資していったらいいですかって言う質問でしょう。

一つだけわかっている事があるんです。何かわかっているかという、その大学院で私もビジネススクールに通っているんで、こんな分厚いね、数式だらけのワケのわからん公式ばかりのわかってるやつでね、ひたすら計算なんかしてね、試験なんかもやるわけなんですけれど、あの、わかりにくいですよ。コーポレートファイナンスとかね、ゆうような

科目はね。

でも、一つだけすごく簡単な原理原則があるんです。で、これは、きっちり証明されていてね、数学的にも証明されている事があって、それはなにかかっていうと、いろんな形で人はね、物に投資していくでしょう？その投資ってゆうのは分散する事で、分ける事によってリスクが減るって仕組みがあるんです。これメカニズムなんで原理原則で、これ宇宙の法則みたいなもんです。こう、万有引力の法則みたいなもので、上からこうペンをパッと放したら引力で落ちるのと同じ位に自明のことなんです。分散すればリスクは減るんです。

でも、一つのものに投資してしまって、僕はもうこの参考書や問題集と心中するんだあという形でやってそれに賭けるのはいいけどね、一つの物に投資したら、もしその問題集に掲載されていない物が出ていたらどうしますかって。まあ問題解けませんよね。だから、色んな物（問題集）を使って分散投資してリスクをヘッジする。リスクを減らすんですよ。

そういうふうにすることによって、どの問題がでも問題解けますよってことなんです。

だから、記憶作業していく時は、原則としてね、学習対象のを分散させることが大切です。ちょっとね、当たり前過ぎる事について、ものすごく小学生一年生のレベルまで下がりますよ。

だから、問題集は色々やらないといけないということ。当たり前な話ですけど。(じゃあ、たくさんやればいんですね！！)と、いう話ではない所が今回の話のみそなんです。それでその答えっていうのはちょっと話せずに後のほうでおいおい話すことが出来たらなあと思うんですけど。

みなさんたくさん覚える事が出来る勉強方法って結構いい勉強方法だというふうに思ってる方がいらっしゃらないでしょうか？

たくさん覚える事が出来ればとか、そんな風に思っていないませんか？？

牛山さん！なにいい始めるんですか！！とって

いる人もいるかもしれませんね。

だってこれは、日本初の記憶専門の塾である、記憶塾のDVDですからね（笑）

勉強強化最強プロジェクトというね本を私は書きまして、要は結局、弁護士とお医者さんと牛山と、三人そろってね、三人ともが、記憶すれば試験はいいんだよってね、言ってるくせに、【たくさん記憶する事が出来る勉強法とかっていう必ずしもいいとは限らない】みたいなことをいったら、ちょっとおかしいんじゃないですか？って思われるかもわからないけど、それがそのレジュメの中に書いている所なんですよ。

まあその手元にあるからどうせ分かると思うので言いますけれども、**リスクとリターンで勉強方法は評価されないんといけない**んですよね。

で、その記憶の到達量という事に関して言えばですね、原理的な部分っていうのは、目標達成論や勉強強化プロジェクトに書いた通りで、つまりは効率、判断、やる気のね、この三点で評価されるべき

なんです。

そんなことを、勉強本に関して言った人なんて未だかつてただの一人もいないんですよ。物理的記憶量を増やすにはこの三点が物理的にね物が移動する要因だから、シナプスの結合量を一定方向に対して増やしていく際にも原理的に同じことが起こっていると、そういう説はありませんでした。

物理的に頭の中で結合されていくシナプスの量を、自然科学的な視点から、実態を要素分解していくと、効率、判断、やる気っていうものが、浮かび上がります。

それぞれ評価されて学習一つの勉強法、勉強方法とか、記憶方法っていうのは、効率、判断、やる気の三点から評価されなければいけない。その総合値が高ければ高いほどあくまでも、一般論としてその勉強方法は優れているということは一方では言えますよ。と、というような仕組みの事をお話しましたよね。

けども、もう一つ重要なことがあってそれは要

は、その原理的な話であってね実質的な話ではないんです（笑）。

原理面と実質面で、違うということ。難しくなっています。

ここ解りますか。わからなくてもいいです。ようは、実質的には、記憶作業っていうのは、リスクとリターンで評価される必要があるということなんです。

まとめると、記憶作業や勉強方法の評価基準はこうなっています。

- 1) 効率がいいか悪いか
- 2) 判断のレベルで困るか困らないか
- 3) モチベーションが引きあがるかどうか
- 4) リスクが低いか高いか
- 5) リターンが低いか高いか

こういうことです。

どれぐらい覚える事が出来るかという事。これは

リターンですよ。リスクに関しては、記憶できないリスクというのは減らさなければならぬし、つまりたくさん覚えりゃいいんだけどあとから忘れてしまう、とか、記憶しきらんとかね、これ、あんまりよくないと。

で、それから、試験本番で通用しない、つまり丸暗記で覚えていて、数学の問題を時間内に解けなかったとかね。これ、通用しなかったわけでしょう？スピードが足りないとかですね。まあ、スピードが足りるような形で理想的な記憶作りがなされていなかった。ということです。

実質的な話なんですよ。そうすると、少なくとも記憶のその全体の記憶作業、その一連の物ですよ。つまり、その時だけ瞬間的にね、これから30分だけなんかやりますよって話じゃなくって、一年間、二年間、三年間って見た時は、その記憶作業っていうのはリスクとリターンで、やっぱり評価されるべきなんです。実際にね、そのポートフォリオという概念もリスクとリターンという評価軸からそのさまざまなかね、投資案件という物を評価軸に落としたりしてね、リスクとリターンを自分が一番望んでいる

ようなリスクとリターンの値になるような形でね設定していくような学問なんです。

もっとも、そのリスクを、【リターンを得るためにより多くのリスクを取るのか】とか、そういう案件も片方ではあっても、ハイリスク、ハイリターンな案件が片方であっても、ローリスク、ローリターンな物も沢山その金融商品の投資先として準備しておくことで全体として、ポートフォリオ全体で見たら、リスクというものは【市場リスク】っていわゆる一定のリスクがあるんですけどそこに極限にまで近づくってようなね。原理原則があるんです。

これは受験に例えれば、どんなにリスクを減らしても、受験リスクと呼ぶべきような、リスクがそこに存在するということになるかな。

それと同じような事を勉強に関してもやっていけないといけません。これは、自分で考えると大変なんですけど、私のようなコンサルタントが相談するとある程度設計が可能です。

と・・・言っても実質的には、私の塾には、他の

塾で教えてもらっていたという人がいろいろくるのですが、前の塾で指導されていた内容が、脳科学的にも、言語学習の研究からもめちゃくちゃで、単なる経験則ということはかなりあります。

話を戻します。

細かい事話しますよ。きっと勘違いする人がいるからいけないという話なんです。

だから、そうゆう意味ではね、勉強っていうのは究極的には、何を目指しているかということ、少なくともね、教養の為の勉強とか、趣味でやってますっていうのではなくて、受験勉強に関していうと、合格が一番重要じゃないですか。

ここは、もう絶対間違いないですよ。だからその合格を実現するには、私はこういうふうにもね考えているんです。どういう風に考えているかということ、あのね、**トップ合格なんかどうでもいいんです。**誰も褒めてくれんから（笑）。だから、トップ合格私は絶対したいからっていう人はうちの生徒にならなくてもいいんじゃないかなあと思います。

だって、絶対受かるんでしょう？だったらもういらないうって話でねサポートは。でも、そんな人っていうのはやっぱり千人、一万人に一人もいないですよ。はっきりいって。だからそんな一万人に一人の為の勉強法のアドバイスってね、私はやってないんでね、あくまでも受かるっていうのが大事じゃないですかって事です。

ずば抜けて高い全国トップ10位以内とかも、ばんばん続出しているけれども、本質的にはどうでもいいですよ。

ずば抜けて高い成果を得るんだったらどうしたらいいかということですね、ハイリスク、ハイリターンな事ばかりやればいいですよ。もう一回いいですよ。そんなに一番がいいんだったらハイリスク、ハイリターンな事ばかりやったらいい。

うーん、ざっくりな言い方なので、誤解をまねくかもしれないのですが、原理的には必ずそうなっています。

つまり、宝くじ買うようなものなんですね。僕は

お金持ちになりたいです。どうしたらいいですか。って宝くじ買いなよって、アドバイスって優れていると思いますか??優れてないですよ。でも気絶するぐらい金持ちになれるかもよ。わからないよ。ハイリスクでしょう。天文学的な数字になるでしょう。絶対99.99999%当たらないんだから。そんな勉強方法に価値がある?

そんな、99.99999%不合格になりますけれども、もしかしたら0.00001%の確率であなただけで一番でトップ合格できるかもしれませんよっていわれてもすこしも嬉しくないでしょう。ということは、本質的に何が重要かというリスクを減らす99.9%受かるけどトップ合格になる事はさらさら望んでないよって、99.9%合格する状態、本にも書きましたけど、つまり、確実に・・・確率計算していくと99.9%受かる形にもっていくことは出来るんです。

その為の方法ってのは何かってゆうのを考えていって、提供していかないといけないというふうに私は考えているんですね。

結論です。結論はそこに書いてあります。ポートフォリオが組みられている勉強方法がもっとも優れている勉強方法ということが出来る。当たり前です。

結論：ポートフォリオが組みられている勉強方法が最もリスク回避に関して優れている。

なぜならば、ポートフォリオというのはリスクを減らすという事が証明されているからです。科学的に世界の頭のいい科学者がさんざん数式やらなんやらもちだしまくって。だから、ポートフォリオを組めば組むほどね、リスクは減ります。

だからハイリスクな勉強方法ばかりで勉強の方法のポートフォリオを組んだらねこれはもう、落ちますよ、当たり前だけど。リスクが高くなるんだもの。

でも、皆そうゆう勉強方法ばかり望んでいる人は結構いない??という話でね。

だから、今日習った事も、弊社では、指導することもあるけど、じゃあ、牛山さんは記憶術を教えているのですね。ってなことは私は言って欲しくないってずっと書き続けているし、本にも書き続けているし、言い続けているんですよ。

記憶術、記憶術って言うな、と言っているんです。勉強方法もポートフォリオを組むってそういうことは考えられなくなりますんでね。

その下に書いてあります。

本質的に受験はイス取りゲーム。リスクを取っていくゲームなので沢山覚えていく事の価値は低い。これ、ちょっと語弊が在る言い方ですけれども、より沢山覚える価値は低いと思ってください。

Kさんっていうね、Kさんっていったらわかるけど電話してきて、記憶がうまくいかない・・・と連絡をくれたんですね。全体の90%くらいしか覚えられていませんと。

まあちょっと、不安に感じていて。90%位しかね、勉強したものを覚えてないんですけど、これ、ちょっと、まずいんじゃないでしょうかってね、僕が言った通りに勉強していて2000項目位の単語帳を90%くらい覚える格好になったのかな。90%位だからちょっとまあ不安ですってことをいていた子がいたんですけど。

あっ僕のことだあって見てたら思うのかもしれないんだけどね（笑）

非常に優秀な子なんですけど、まあそういうね、やっぱり、記憶に詳しいわけじゃないし、まだ若いし、だから、そんな記憶なんか詳しい人では、もちろんありませんよ。

まあ私みたいにマニアックな人間以外にいませんからね。それ専門に仕事やってるような人以外はね。

だからそんな疑問は普通だと思います。

それで、彼は（やり方がまずかったんじゃないかな？）って考えていたんですけども。それは、もうまったく心配する必要はありませんよって言ったんです。10%忘れてる位でちょうどいいですって言ったんです。

そしたら、ええ、10%忘れてるのがちょうどいいっていうのは、どういう事なんだろうかってやっぱり思いますよね。思うと思います。わりとね普通の人だね。

10%忘れてるということを計画的にやるのが大切です。

計画的に忘れていってるんです、むしろ。なぜならば、そのパーセンテージを少なくするということは、リスクを減らしていく作業は出来るけどリターンが少なくなるからです。

だからそれで追加投資していったり別のアプローチでとにかく、リスクを減らすって事ばかりでや

っていると時間がいくらあっても足りなくなるので、ということなんですね。もっと別の言い方をすると、そのまま覚え続けると、コストパフォーマンスが悪くなります。投資対効果が悪い勉強方法をとらないといけなくなる。

だから、そんなに忘れたくなかったら、100回音読をしたらいいよということなんです。もしもそんなに忘れたくなかったら。100回音読したら忘れないけどそんな勉強方法する??っていうと、まあ嫌ですって感じだったんですけど（笑）

まあ普通嫌ですよ。私だって嫌です。そんな100回も音読するなんか、だから効率、判断、やる気って三点評価からいって原理的に有効なアプローチをとり、かつ、計画的に忘れていって勉強方法のポートフォリオ組んでそれで計画的に忘れて計画的に覚えるんですね。

90%覚えているという事は、9割も覚えているというふうにする人と9割しか覚えていないと取る人というんですけどあるがままに物事をみるとね、9割覚えているんですよ。だから、2000項目

中の9割位覚えていて残りの10%位についてはですね、軽い刺激を与えると、また記憶が蘇ってくる状況になっています。

でね、私はそこで忘れていてもいいとゆうふうに彼にいったんですけど。何故かという、ポートフォリオ組んでるからなんですよ。

ものすごく重要な単語ばかりが集められている単語帳だったんですけども、それは忘れてもいいのは、学習全体で見た時にその単語帳やって、次これやって、これやってそのあとにこうね、バケツの穴を塞ぐような作業をするんですよ。記憶漏れのチェックみたいなことと同時に新しい物もね、理想的な形で覚えていく事をやるんで、どうせここで捨てるんですよ。

ここに在る物で、ものすごく重要なものだったら必ずここで拾われるようにね。リスクヘッジされるように学習全体を設計してるんで、その設計の思想がね問題なんです。伝わってますか？

だからね、よくこんな事を言うおためごかしのな

んちゃて勉強戦略論っていうのがあるんですけどつまりこれが最強の参考書だとかこれが最強の問題集だとか訳のわかんないことっている人がいるんです。

けれども全部うそです。でしょう。だってなんでそんな事がいえますかって話でね。なんていうのでしょう。何考えてるのかなあと思いましたよ。正直ね。

そんなこと言うことに何の価値もないっていうことにまず気がつかないといけないんです。で、面白い人がいてね東京大学医学部に受かった人でね、自分でなんかこう教えてね医学部受験の子をサポートして教えている子がいて、彼も同じ事をいってました。

つまりね、【どれが受かる参考書ですかとか、どれが受かる問題集ですかって言って来る人は落ちる】って言ってました。落ちる人の共通点なんですよ。どれやったら受かりますか。なにやったらいいですか。と、あともう一つ落ちる典型的な質問は『どれだけ勉強したら受かりますか』とかね。

そんな事はね、難関試験受験生には関係ないんです。フルでやるに決まっているわけですから。どの問題集をやったら受かるかってことも関係がないし、どれだけ一日に勉強したら受かるかってことも関係ないんです。ようは、結果に関係ない質問なんです。だからナンセンスな質問になっているんです。という事は、その裏返しもまた然りでこの問題集は最強ですっていうのも、ものすごくナンセンスなんです。

だっていいです？証券マンとかね、もう一番頭のいいような世界でその何億円とか何十億円、何百億円とかね、お金を動かしているような人間とかっていうのはね、本当にエリート中のエリートね、そんなこといいませんよ。

例えばある特定の株とか特定の金融商品がこれを買ったらあなたはお金持ちになれますとか口が裂けてもいいませんよ。何故か、それはリスクとリターンってのが必ず市場にはあると熟知しているから。だから、どうゆうふうポートフォリオを組むのか？という事が重要なんです。そういう人達にとっては。その特定の何かが単発でリスクやリターンが

最大化されるっていうことは、原理的にこの世の中ではありえないんでね。そんな事は1ミリも考えないです。頭のいい人は。

だからこれが、選ばれた参考書だとかなんだに關してはまったくね、意味がないです。もっと、原理的な所まで深く入っていかないとです。

それではもっと、【優先されるべき問い】ってなんなのか？っていうと、もっとも出題頻度の高いもの。もっとも出題頻度の高いものから、順番にリスクが最小化されているような状態の記憶を作っていて、出るか出ないかわからない物になってきたら記憶のリスクっていうつまり、通用するかしないかって言う事は二の次になってもいいからとりあえず覚えていっているような状態になって、かつ、さらに、他の人の2倍、3倍ぐらいの記憶量があるっていう状態を試験の当日に作る事が出来るようにポートフォリオが組まれている事が重要なんです。

全部の科目についてだからね、何で何故こういう順番なんですかとか、何故この手順で勉強していかないといけないんですかってのは、僕は今まで一度

もその理由ってのはね、細かく話した事はなかったけど、今日ね、それをちょっとね、話しかけていますよね。

話しかけ、このさわりを話しかけています。だってそうでしょう。もっともリスクを減らすんだったら、もっとも出題頻度の高い物についてもっともリスクが減らされる状態で、かつ、他の人よりもより沢山ね、リスクとリターンを勘案しながら、かつ、それでもその何倍も記憶量があるっていうのが一番理想的じゃないですか。つまり、一番濃い記憶を作るんです。コアの部分について、そのための学習戦略であり学習手順になっているってことなんですね。

でね、分析や思考っていうのはね、そのそんな簡単にマスター出来ないですよ。僕も勉強中ですから。あの毎日刺激が一杯ですよ。大学院で。

私が教えていただいている方はマッキンゼー出身だし、そうすると何十年とね、マッキンゼーっていうコンサルティンググループで、世界のトップ企業相手にねコンサルティングしていた人のその思考手順ってのを細かく教えて貰う。だから刺激的ですよ。

どうゆうふうに分析していたら間違わないのかっていうことを一つ一つ諭す様に教えて貰ってますからね。

中にいるんですけどね。時々、ちょいちょい見積もりが甘い人がいるんですよ。これまた、他の所で話するけど。その思考方法がどうとかなんとかそんなんあれでしょうっ??簡単でしょう??て思っている人がいるんですけど、そんなことないです。難しいですよ。

それでは少し話を戻します。えっと、ポートフォリオを組むことでリスクが減る事がわかってるってことは話した通りです。勉強法には**価値的、質的、評価基準と原理的評価基準があります。**だから、さっき話した実質的な評価基準っていうのはリスクとリターンで原理的な評価基準ってのが効率、判断、やる気です。

どんな勉強方法もリスクとリターンで判断されるべき。そういう図がちょうどありますけどもそこに、落とし込んでいくわけですよ。評価軸を2つにね。

リスクとリターンにね。リスクは高いけどリターンは低いとかね。あのリスクは高いけどリターンも高いとかね。ということです。

で、その下の0%しか覚えていませんっていうのもね。他のもので拾われるように、その学習全体が設計されている場合はね、リスクはヘッジされています。それでね、これも伝えときます。

それで、条件反射を形成する事も重要、という部分についてお話をします。これはどういうことかっていうと、さっきいった話ですね。記憶の質、実質的な質でリスクを減らしていくその記憶の条件反射がね、素晴らしくいいことっていうのが重要なんです。

で、これもね、ちょっとものすごく初歩的な事なんですけども、ついでなんで確認しておきたいんですけども、問題集やる時に問題集でもなんでもいいんです。記憶作業やる時に一秒でその記憶対象が頭の中にすぐパッと条件反射に頭によみかえってこない状態で次のページにいったら絶対ダメです。

すごく、基本的ことなんで私は言いたくないんですけど、ここを間違えている人って、時々いるんですよ。で、そうすると本当に力がつかないんで、それは本当にやめってください。

仮に丸暗記だったとしても丸暗記じゃなかったとしても、その条件反射をね、つまり、問題集、まあ数学でもいいですよ。数学でもいいですし、英単語でもいいし、あと歴史でもいいし、生物でもいいし、なんでもいんですけど、その、記憶対象をパッとすぐ一秒でね、記憶がよみかえってくる状態を作ってから次のページへいくんですね。

だから、一問目見る、二問目、三問目、四問目って一問あたり一秒ぐらいでこうくるくると回して行くんですよ。

一つのかたまりをね。凄く当たり前なんですけど。で、最初はぎこちないですよ。こう見てわかんないからこっち答え見て、あっそうかっと思って、二つ目見てわかんないからこっち見て、わかんないからこっち見て、あっそうかってだんだんこれが速くな

ってきます。

こう繰り返せば繰り返すほど、これくらいで見て頭の中に、要は記憶よみがえるようになってきたら次のページに行く、という形で勉強を進めてください。

そうしないとね、極端な話、どういうふうになったかっていうとね、問題集パーツとめくったら、えっと問題集やりました。って形になりますからね。

めくっても問題集やってないから。つまりは、当然のように一秒くらいでパツとすぐ記憶がよみがえってくるようになってから、次のページに行ってから進めて行って一周したらそりゃ一周したねって話になります。当たり前ですけどね。

だから、また一周じゃ覚ええないからどうせまた最初のページに戻らないといけないから、最初のページに戻ってそれをやっていく、繰り返してねやっていくことです。

で、ここに書いてあるのはそういう意味合いのこ

とではなくって、その、何%覚えているかってことだけが重要じゃないから。その CD を繰り返し聞いて、条件反射能力っていうのをさっきは、一秒っていたけど、0.5 秒とか 0.1 秒とか、0.2 秒ぐらいにして行きましょうって話ですよ。そういう良質な記憶をもっとも出題頻度の高いものについては作る事によって、言語系の科目なんかは高い点数が取れるようになりますよってな話なんです。

で、もちろんってふうにあります。もちろんって何書いているかっていうと、もちろん 50%.30%ね、その言われた通りにやりましたとね、問題集言われた通りにやった、でも、ランダムにチェックしたら 50%とかね、30%忘れてますっていう場合は、どこかしらやり方が間違っていると思ってください。

もちろん、一秒一ページあたり全部一秒で思い出せるようになって次のページにいったって形ですつとやり、最後まで例えば、歴史系の問題集でいくでしょう？最初のページに戻って二回目やったら 50%忘れてたっていうのは全然 OK です。

丸暗記で覚えた人は、それくらい忘れてるもんで

すからね。だけれども、そうじゃなくて、三周位やったのにまだ、50%忘れてるっていうのは、それはちょっと絶対何か、何処かしらやり方がおかしいです。だから、最初の1ヶ月目でそれに気づいて修正する方がいいです。絶対何か違うことをやっているから。

記憶のサポートとかやっていると、『言われた通りにやったんですけど、えっと、こういうふうになりませんでした。』って言う方がいらっしゃるんですね。今までは、一つも一件の例外もないけど100%確率で違う事をやっていました。これはまた違う他の講座でお話しますが、ちょっと、これは気をつけなければいけない所なんで、注意しながらやって貰えたらなあと思います。

それで、レジユメの次のページなんですけど記憶作業っていうのは鎖がついたデッキをぐるぐる回していくようなイメージですって書いてあります。

どういうことかっていうとね、これ位の玉があるでしょう。これに鎖がついていてぐるぐるん回すとしましようかね、そうしたら最初こちら辺でぐるぐる回りますよね。それをもう少し長い鎖にしたら

この辺でぐるぐる回るでしょう。で、もっと長い鎖にしたら、ぐるんぐるん回るじゃあないですか。っていうふうに、どんどんその回す所を大きくして行くような作業が、その大量の記憶を作る、イメージ的な形なんです。

でね、例えばね、こう見開き、このページとね、このページとある、単語帳なり、なんなりあってね、最初はね、例えばDUOっていうような問題集だったら、ここだけ覚えるんですね。

こう左上と右下にこうそれぞれ文章があってで、ここの文章読んだ時に、もう、そもそも、もうわからないし初めて見たらね、そしたら、その単語みて、訳を見て、単語見て、訳を見て、単語見て、訳を見て、凄く細かい事話してますよ。でも結構重要かもわからないから。すいません、話させてください。ばかばかしいですけどね。

単語見て訳見て、で・・・、文章を読むんですよ。また読めなかったら、また、単語見て訳見て、単語見て、訳見てね、で文章読む。で、もう一回文章読む。ね、ぎこちなく読む。で、四回目はずっと読め

る、五回目はもっとすっと読める、六回目はもっとすっと読める。ね、七回目はパッと見たらそれで、もうすっと一秒で頭にその全部意味が入る、そしたら左下にいくんです。

つまりここですごく短い所から少しだけ長くしたでしょ、ね。左下にあって左下でも同じ作業して、またその文章読むステップになったらぎこちなく読んで、それをだんだん速くして行って、スッスススス読めるようになったら、今度は右にいくんですよ。ね。

右上もその作業やったら右下もやったら今度次のページにいかずに今度は左上に戻るんです。左上に戻って、その文章を読んでぎこちなく読んでぎこちなく読んで、ぎこちなく読んでぎこちなく読んで、最終的にはパンパンパンパンと見れるようになる所までもって行くんですよ。パンパンパンパンと見れるようになったら次のページに行く。

つまり、鎖をどんどん長くして行くようなイメージですよ。全部同じですよ、基本は。つまり一つの範囲を、一瞬で思い出せるようになってから次の

ページにいくんですよ。

で、最終的にはその問題集一冊ってのもね。最終的にはね、例えば、英語だったらわかりやすいからいうけど、一時間ぐらいで全部内容聞けるでしょうね。どれだけ時間がゆくつきかかったのも一時間かあるいは、30分、40分で倍速再生したら全部を聞くことが出来るようになるでしょう。

で、まあ数学とか、理数系の科目も解法パターンってゆうのを、数学のカードでパッパパッパわけていって、最終的にはもうカードを全部見た瞬間に解法手順をすぐに思い浮かぶようにして、で、あの暗記系の科目であっても、その問題集っていうのを一日で復習できる所までもっていくってのがやっぱり一番理想なんですね。

法律なんていうのは、もっとこれやるのが難しいんですけど、やっぱり合格している人というのは何らかの形でそうやって圧縮したりしているんですね。だからその鎖のついたデッキをどんどんどんどん長く長くしていくようなイメージでやってもらうといかなあと思います。

その下は、重要度の高いものから記憶の質を高く保っておく必要がある。これはね、もうお話した通りです。重要度が低いものは、記憶の質は低くてもいいけどカバーできる範囲は広げておくってことなんです。

これはね、さっきいいましたけどね、やっぱりね。疑わしいっていう感情っていう正体はってね、どこかしら、なにかしらね、甘く見ていることかなってね。だからその意識を引き締める事が本質的な対策になります。ようは、そこが本質的な原因だからですね。何かしら、あれやこれや甘く見ていかないと、いうことが大事なんです。

【たくさん記憶する事が何でもない】 っていう一つの理由は、これもお話しましたけど自動記憶っていうのがあるからなんです。へのかっぱです。全然関係ない。時間つっこめばいんだもん。

(中略)

リターンが、あればあるほど、記憶量って何によ

って作られるかっていうと、その人の頭腦的な質もあるかもしれないけど、もっと時間がね、100倍だったらどうなのっていったら、100倍の方が勝つに決まっているでしょう。ということは、本質的に違うんですよ。

つまり、時間と能力と、要はその人の能力とね、総合的なもんなんです。その総合値の高さっていうのが結局点数に繋がっていて、合格になっているということがね、認識がないと単なる勘違いですよ。

(中略)

一個だけ忘れていたね。

ということはね、どうゆうことかっていうとね、感謝しないといけないということです。これちょっと、軽くだけ話しておくですよ。では、どういふふう考えたらいんですかっていう質問があるかもしれないんでね。

いろんな人とう話をしてきてね、だからもう感

謝することしかないですよ。ホームページの方にもちよっと書きましたけど。ホームページかな、メルマガだったか書いたけど、国際弁護士になっている方がね、いっていましたね。

僕はお金があったから弁護士になったのであって、頭がいいから弁護士になってるわけではありませんよって、はっきり書いてあるんですよ。だから、僕は感謝していますよって。だから、逆にその人はね、感謝するだけじゃなくって、そういう形で自分は他の人よりいい境遇にあったから、こうゆう状態になれている。だから僕は、社会的にこういう責任があるってことまで考えているから、バランスが取れているんですね。

ところがね、その反対で調子ぶっこいてしまうと、色んな物が歪んで見えてきますよっという話なんですよ。

でポートフォリオから考える対策の基本ってありますけど、今回の講座の結論として、まあ補語的な内容だったんですけど、どういうふうに考えていけばいいかっていうと人がやっている問題集をやるっ

てことです。

他の人がね、やっていない問題集がいいかとか、どの問題集がいいかだとか、いろいろ考える人っているんですけど、面白い事をいっている先生がいてね、法律家の先生で一緒にお仕事させてもらっている先生なんですけど、『論文試験、論文試験法律論文の試験は、多数決の試験なのです。』みたいなことを、話している先生がいるんですけど。

だから、まあ $+ \alpha$ で他の人が書いてないようなことを書くとね点数が高いとか、いうふうに考えている人がいますけど、そういう人は真っ先に落ちるんですよね。ものすごく、受験の業界にどっぷり使っている詳しい方ですよ、受験事情に。

他の人が出来ない問題っていうのはね、より沢山出来る必要って実は、リスクをヘッジするとか、試験に必ず合格するっていうことを考えたら、さらさら必要ないんですよ。

ここの仕組みっていうのもすごくよく理解しておく必要があると思います。他の人が出来るような問

題を自分が出来ない事に大きなリスクがあるんです。だから、他の人がやっている問題集をやる事に価値があるんですね。

競争試験なんでイス取りゲームだからなんです。これがそうじゃなかったら、イス取りゲームじゃないんだったらそんなことはないですよ。でもイス取りゲームですから。

で二番目は、良質な問題集やテクニックを使い周辺を埋める。それでそうはいってもその、そんな覚ええないんですかっていったら、そうじゃないんでそれを埋めるってことですね。良質な記憶作りを心かける。つまりは上の図を見てください。その濃い部分ですね。そういう濃い部分がより多くあるような勉強方法、まあ優先順位をつけて出題頻度の高いもんから順番にこういう濃い記憶が作られているような、設計されている必要があるってことですね。学習全体はですね。

でもって、四番目、誰でも記憶出来る方法で記憶する、という、そうはいっても、自分には出来ないような、特別な人しか出来ないようじゃ意味がない

んで誰でも記憶出来る、こういうふうにやれば誰でも記憶出来ますよってなアプローチでやっていくって所がね重要なんだというお話でした。

どうだったでしょうか。記憶作業とか記憶理論とか、その、勉強方法とかね、いうことに関してちょっと、迷いがある方が時にいますので、お話をしておきました。以上、参考にして勉強に精を出してくれたらと思います。頑張ってください。

記憶術教材を買って損をしない為の
3つのポイント

ここからはネットで配布している無料レポートです。

第一節 記憶術のデメリット

第二節 法律家の記憶術に対する意見と記憶術の具体的なやり方

(補足意見：早稲田大学合格者)

～記憶術を解剖する～記憶術の特徴と内容記憶効果についての考察

第三節 記憶術の補い方と学習効果の引き上げ方

執筆者 牛山 恭範

はじめに


このレポートは、記憶に関する様々な情報を多面的に紹介することを目的とします。

その為、メールマガジンの内容や、法律家の記憶に対する考え、記憶をするのに役立つ無料のクラウドソフトの紹介などを行っていきます。論文のスタイルのような堅い形（インデントや脚注、段落わけや章立て、構成の厳守など）では表記を統一しませんので、若い方も気軽にお読みいただき、日々の勉強のヒントにしていただければと思います。

他の場所では知ることができない、記憶術の実態や、その他の勉強方法の考え方、そして、結局はどのような勉強方法が最も効果的なのか？という事に対する明確な答えの一つを記載することができたかと思えます。

上記の意味では、100冊、200冊の勉強本を読む前にこのレポートを読むことが大切かと思えます。

あなたの試験勉強やご家庭での学習が今の何倍も効果的になることをお祈りしています。

A wooden frame with a white center containing text. The frame is made of dark wood with visible grain and is secured with metal bolts at the corners. The text is centered within the white space.

第一節

記憶術の隠されたデメリット

こんにちは。
ディジシステムの牛山です。

この無料レポートでは、記憶術教材を買って損をしない為の3つのポイントを解説します。

まずは、私が過去に出したメールマガジンをお読みください。このメールマガジンの中で大切なポイントを解説しています。

メルマガのタイトルは記憶術のデメリットというタイトルです。

件名：記憶術のデメリット

-----ここから-----

こんにちは。
ディジシステムの牛山です。

今日はもう一度きちんと記憶術のデメリットについてお話をします。

このメルマガを取っている皆さんの中には、次のような方がいるのではないかと思います。

- 1) 記憶術を宗教のように信じている人
- 2) 信じたのに、ぜんぜん覚えられなかった人
- 3) これは部分的には有効だけど自分の試験には使えないと思った方
- 4) うさんくさくて、試せない人（怖いと感じている人）

上記の1～4のどれが多いと思いますし、どれにも属していない人がいるかと思っています。

実は、なぜこんな事情に詳しいかと言いますと弊社は日本一の記憶術に関する駆け込み寺になっているからです。

気絶するくらい覚える事ができると言われていたのに、ちっとも覚えられない。

これは勉強には使えない。

そもそも理数系科目には使えない。それなのに、理数系の難関大学合格実績があるのはおかしい。

そういう疑問を良く聞きます。

そこで記憶術のデメリットを今一度はつきり認識した上で、本当の意味での効果的な勉強はどうすればいいのかをお話したいと思います。

●東大卒の弁護士、医師と本を書いた理由

- ・良く分らない業者が多すぎる
- ・うそが多すぎる

これが私達が協力して本を書いた理由です。

あなたは自分の将来をわけのわからない魔法の杖にたくしますか？

- ・めちゃくちゃ気絶するくらいに覚えられる！

- ・こんなに天才脳になった！
- ・覚えたら忘れない！
- ・難関試験に90%以上合格している！

これらの宣伝をどのように理解すればいいのか？
どうすればこういう宣伝が増えてしまった世の中でも、それに惑わされる人を助けてあげる事ができるのか？

それを考えて、弁護士と医師と専門家が手を組んだのが、勉強法最強化PROJECT（エール出版社）



勉強法最強化
PROJECT

全国の書店で
好評発売中!!

ネットで
今すぐ購入する

http://maishu.kir.jp/base/kiok_ujyutsu3.html

上記の書籍だったのです。

●記憶術のデメリット

1) 理数系科目には使えない

記憶術は理数系科目に使えません。従って配点の50%以上が理数系の科目で構成されている試験に記憶術で合格したというのはおかしい論法です。この事実を見破る事ができないと、なんでも記憶術で解決すると思いつく事になります。

2) 言語系科目にも使えない

言語系科目に使うと、試験会場でちんたら英文や古文を読む事になりますので、不合格になるでしょう。

なぜならば試験はスラスラ読む事ができる人がやっと合格できるレベルで設定されているからなのです。考えてもみてください。

英語をスラスラ読む事ができる人が一体全体記憶術など使っているのでしょうか？

使っているわけがありません。

つまり記憶術で何でも解決するという言説は、原則としておかしいということになります。

(重要ポイント)

上記の2点の事実から、配点の比率が言語系科目と、理数系科目であることを考察してみましょう。

全体の80%くらいが言語系科目と理数系科目で占められる試験はたくさんあります。

●記憶術がクローズアップされる理由と背景

記憶術がクローズアップされる理由は大きく3つです。

1) 単なる嘘

記憶術を使ったから合格したと言え、記憶術が注目されるので業者は好みます。

本来は記憶術は役立ったと言うべきなのです。当然ですが、軽視されがちで見過ごされがちなところですので、注意が必用です。

私は記憶の技術が必要だと述べており、その中に記憶術があるというだけで記憶術によって記憶を数万項目作ったとは一度も述べていません。

なぜならそんな力は記憶術には無いからです。

2) TVの見栄えがいい

TVというのは、絵になるかどうかで番組を決めます。それが面白くて、瞬間視聴率が取ればいいのです。だからテレビに出ているのであって、記憶術があらゆる意味で超絶な記憶テクニックだから出ているわけではありません。したがってTV局が認めたわけでもなんでもないという認識が大切です。

私自身TVに出っていますが、それは私がすごいからではなく、お茶の間の人にとって役立つ内容だから出ているだけなのです。

http://www.youtube.com/watch?feature=player_embedded&v=SwBuRcIvVXc

3) 学校や試験のテストとは無関係のことで選手権がある

記憶術選手権というのは、民法を覚えるわけでも、歴史を覚えるわけでもありません。

トランプの順番を覚えたり、数字を覚えるゲームです。そのゲームに勝つ為の特有のテクニックとして記憶術がクローズアップされる事があります。

しかし、それが私達の問題を解決するわけではありません。学校の試験や法律をすらすら覚えられるわけではない事は上記に述べた通りです。

●記憶術のデメリットを補うにはどうすればいいのか？

=====

●対策1 記憶術をやめる

=====

どうしても記憶術でなんとかしなければならぬと思っ
ているのであれば、記憶術を辞めるのは一つの
手です。

東大の法学部に合格した石原弁護士や、国立大学医
学部合格した齊藤医師の勉強方法で手堅くきちん
と勉強することをベースにすることは大切です。

例) 英語

あくまでも参考までにですが、英語に関しては英語
専用の特化した対策が有効です。

<http://maishu.kir.jp/base/eigo/eigo1.html>

例) 速読

速読を身に着けることで、法律試験に合格された方もいます。

<http://maishu.kir.jp/base/sokudoku.html>

=====

●対策2 記憶術のデメリットを補う

=====

記憶術のデメリットを補う方法があります。
詳しくはこちらのサイトに書いています。

<http://maishu.kir.jp/base/base.html>

=====

●対策3 記憶術を進化させる、もしくは返金保障で試す

=====

市場に出回っている記憶術はカルピスのように、薄められたものであることはご存知ですか？
記憶術が増えているということは、どこかの業者がコピー的に生まれたということです。

したがってコピー元があり、コピーが生まれており、その意味ではその原液になるところがあったということです。この仕組みに気づかないと、コピーで薄められたノウハウを学ぶ事になります。

記憶術そのもののデメリットを十分に理解した上で、記憶術の原理をきちんと応用した効果的な手法を学べば、記憶術のデメリットを打ち消す事がある程度できます。

<http://maishu.kir.jp/base/kiokujixyutu-ritaiken.html>

法律試験、論述試験、暗記科目に有効です。
最初から返金保障がついているものしか試さなければリスクはありません。

ですから、記憶術の教材を買う場合は、今となつては返金保障をつけてくれている業者のものだけを試すことをお勧めします。

●合格証書を見てみよう

合格動画を見てみよう

<http://maishu.kir.jp/base/sixyouron/sr-2/yoro-sr.html>

全部の動画を可能な限り再生してみてください。
合格した子達が何を考えて、どうやって勉強して、
どう判断しているのかを観察する事ができます。

-----ここまで-----

さて、いかがだったでしょうか。

記憶術のデメリットについては、ひた隠しに隠され続けてきました。

しかし、それを隠しての言説があたかも当たり前のように広がり続ければ被害は拡大します。受験というのは人生の大切な節目です。

だからこそ、ギャンブルのようにえいやで魔法の杖があるという言説を信じるのではなく、正しい情報を得る努力をして頂きたく、情報提供をしました。

まずはメールマガジンをご紹介します。

このような、大切な情報や、記憶術の具体的なやり方をメールマガジンではご紹介しています。

このような記事を毎日読む事ができるメールマガジンの登録は以下のサイトからどうぞ。

無料メルマガ登録フォームのページ

<http://maishu.kir.jp/base/kioku.html>

無料の情報はたくさんありますが、無料であることによって間違った情報もたくさんあります。だからこそ専門家の情報を得て、しっかりした勉強を手

堅く行っていくことをお勧めします。

記憶術に関しては、もしかするとセミナーなどで直接会わないとマスターできないという風に考えている方もいらっしゃるかもしれませんが、そんな事は一切ありませんのでご安心ください。

仮にセミナーを受けても、その場で講師がしゃべっているのをみんなで聞いているのですから、DVDを見ているのと変わりませんし、その場で質問をするのも、電話やスカイプで質問をするのも、実は変わりはありません。

今の時代は大学ですら、インターネットを通じて講義を配信する時代であり、教育の形態は全く変わったものとなりました。時代の先端に行く我々はサイバー空間の住人としても、無駄な交通費で教育機会を失うのではなく、限られた資源をうまく活用して、自分達の学習効果を最大化させることを考えるべきだというのが私の考えです。

～セミナー会場で質問することに意味は無くても、
個別に1日会う事は意味がある～

セミナー会場で会うことにはほとんど意味が無いのはここまで述べてとおりです。DVDと同じです。しかし、状況を細かく聞きだして、今の現状を分析した上での、戦略の立案などの個別相談、個別サポートには意味があります。

今何をどれだけ覚えていて、どうしていくことが
必用なのか、その人の弱点はどこでどうすればその
弱点を補う事ができるのか、勉強ができなければど
うすればいいのかなど、その人専用のカスタマイズ
化された学習を提供することには大きな意味があり
ます。

そこで私は、あまりセミナーには力を入れていま
せんが、個別訪問はやる事があります。

詳しくは下記のサイトをご覧ください。

牛山の個別訪問サービス

<http://maishu.kir.jp/service/houmon.html>

私の経験では、個別訪問は大変有効です。しっかり話を聞いて、やり方を教えてあげることによって、全く勉強ができなかった人でも多くの時間を勉強する事ができるようになったり、失った自信を取り戻して、猛烈に勉強するようになったりという事がよくあります。本人の思い込みや、教材ではまったくやる気が怒らないなどの問題を、比較的回避しやすいサービスです。

勉強『法』の
デメリットの考え方

『ある勉強法には必ず何かデメリットがあります。』

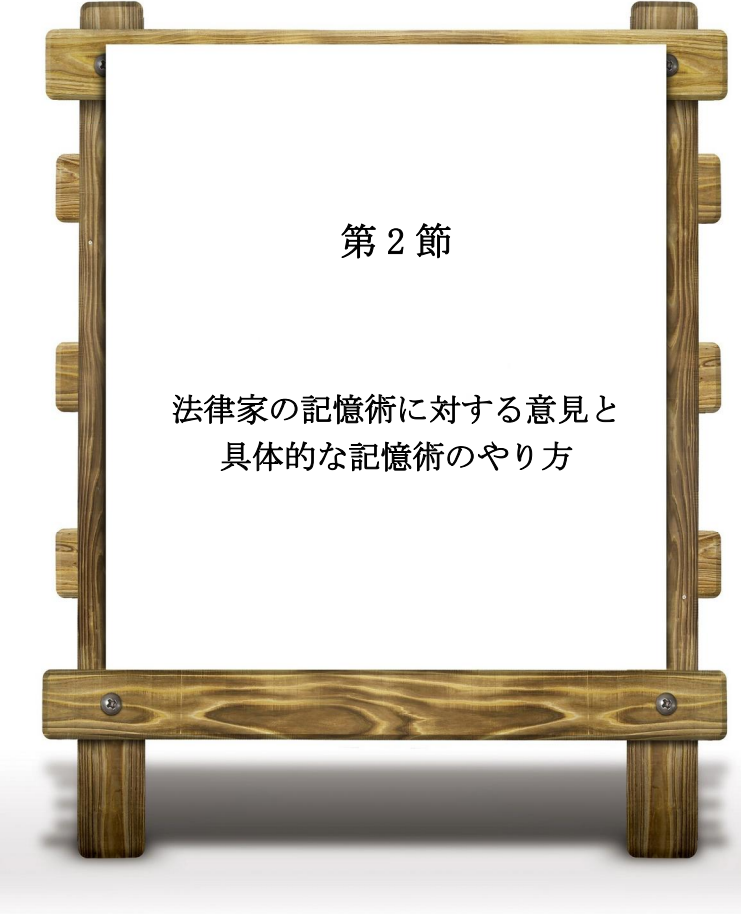
と言ってもなかなかすぐには多くの人には理解してもらえません。そこで私はこのことを3冊の本を書いて伝えることにしました。

1冊目は自動記憶勉強法（エール出版社）

2冊目は勉強法最強化PROJECT（エール出版社）

3冊目は～試験で一瞬で思い出す記憶を作る～機械的記憶法（日本実業出版社）
です。

この場所で簡単に説明してスッと分かるものでもありませんので、まずは日本最大手の新聞社の記者の方がこの点について取材してくださった記事をご紹介します。読売新聞様で8回取り上げていただきました。（連載企画）

A wooden frame with a white center containing text. The frame is made of dark wood with visible grain and is secured with metal bolts at the corners. The text is centered within the white space.

第2節

法律家の記憶術に対する意見と
具体的な記憶術のやり方

私は法律家と記憶術に関して意見交換をしています。彼らの記憶術に関する意見のポイントを箇条書きにします。

- 1) 部分的に有効だが、これによって全部の問題が解決するわけではない。
- 2) 記憶術よりももっと有効な方法が存在する
例えば速読
- 3) 勉強のメイン約50～80パーセントは記憶術ではなく●●を使って欲しい。

● ●は各法律家によって、意見が違うようです。

速読、聞く勉強方法、カコモンを中心とした演習などが多いです。私牛山がやっている仕事はこれらの聞いたり、速読をしたり、過去問題を中心とした演習をしたり、記憶のテクニックを使ったり、記憶術を使うということを統合する学習を提案することです。

その理由は、どのような勉強方法にも、メリットがあればデメリットもあるからです。必ずあります。速読だからといってメリットだけがあるわけでもありません。頭に残りにくいというデメリットもあり

ますがその逆に強烈なメリットも速読にはあります。

勉強の全範囲を1日で復習してしまうような勉強が速読は可能なのです。よく法律家が高速で回転させるとか、問題集や資料を回すという事を言う事がありますが、あれは速読のような手法で勉強している事が多く、本人は速読を使っていなくても、結果としてそれに近い事を行っている事が多いのです。

この点についての見解は下記にご紹介する法律家の先生も全く同様の意見です。

この意見提供に協力してくださっている法律家の先生をご紹介します。

瀬川翔

法律系資格試験受験アドバイザー。教材クリエイター。弁理士試験合格者。独自の作問ノウハウから生まれた良質の教材を通じて、数多くの受験生の合格に貢献している。元々、理論物理学・数学・機械工学・化学等に興味があったが、人間や社会のことに興味を持ち始め、文科系の学業を歩む。東京大学

大学院修士課程出身。元大学受験及び高校受験予備校講師。法律の他、教育・心理・社会・経済・政治・歴史等に対する造詣が深い。趣味は、音楽鑑賞とDVDの視聴(ジャンル問わず)。

瀬川の論文暗記塾はこちら

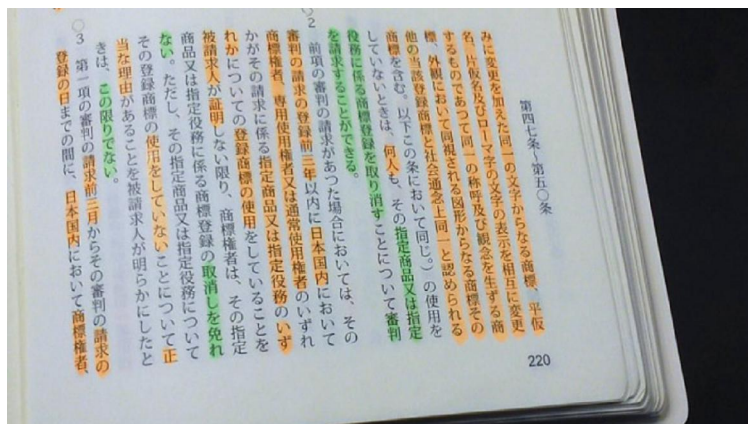
<http://maishu.kir.jp/base/sixyouron/sr-2/segawa.html>

30分間の無料電話相談体験もできます。

瀬川の論文暗記塾

覚え方を改善。

アドバイス通りに記憶することで合格を目指す個別指導塾。



(瀬川先生が合格までに使っていた学習ツール これをどのように記憶術で覚えるのか?)

～何をどこまで覚えるべきなのか？～

試験によって何をどのレベルでどのように覚えておくべきなのかは違います。単に覚える量を減らせばいいわけではありませんし、記憶術を使わない方がいいこともたくさんあります。

何について記憶術を使うのか？

その記憶術とはどのようなものが理想なのか？

これらの点をしっかり考えていなければ記憶術を使う事が目的となってしまう、勉強に活かせないということになるのです。

私は全国からこのような電話をいただいております、早い段階で多くの人に活用いただける記憶術のメソッドを提供しなければならぬと感じていました。

そこで生まれたのが理体験・芸術映画記憶術という、変な名前の記憶術でした。

東京大学の過去問題、論述試験や法律の短答試験、論文試験に使う事ができる記憶術教材です。

<http://maishu.kir.jp/base/kiokujixyutu-ritaiken.html>

■法律論文試験対策無料レポート

論文試験を受験する方に、**論文試験対策の間違いBEST 3を無料プレゼント中!**

情報の量は多くありませんが、法律の論文試験を受験される方はぜひお読みいただきたい内容です。



無料レポートをご希望の方はこちらからお読み下さい。大変薄い無料レポートです。

(画像はイメージです。)

<http://maishu.kir.jp/base/sixyouron/sr-2/ronbun-matigai-best.pdf>

■法律家の意見 記憶術は部分的に有効だがこれによって全部の問題が解決するわけではない

上記のように主張する理由は以下のようなものがあります。

理由1) 試験時間は短い為

法律に限らず入試や、法律試験の時間というのは短めに設定されています。そこで記憶術を使ってゆっくり思い出すことをしていたら、とてもではありませんが間に合いません。時間は問題を読んで、解答を読み、瞬間的に分るくらいの時間で、試験時間が少しだけ余るかどうかという極めてギリギリに設定されていることがほとんどなので、言語系科目や法律の科目でこの記憶術をメインにしてしまうと、不合格になるリスクも上がります。

理由2) 部分的には強力だが、使えないことも多々ある為

記憶術は部分的には有効ですが、使えないことも

多々あります。特に法律の場合はルールをそのまま覚えた方が圧倒的に多いこともあります。多くの場合、このようなデメリットが語られる事はありませんが、記憶術はルールの暗記に有効なわけではありません。

結論)

記憶術のようなテクニックを暗記の際に使う事はあっても良い。いろいろな方法を使い、試験合格の知識を身につけるべき。

上記のような結論はあくまでも一般論ですので、人によって何を大切にしているかは違うようです。例えば、速読のようなアプローチを好む法律家もいれば、聞く方法を好む法律家もいます。大切な事は、食わず嫌いで、記憶のテクニックを使わない法律家の方の意見ではなく、試験に合格した後に、記憶のテクニックを知って、その後に振り返ってみて総合的に考えて、どれくらいの比重で記憶術を使うことを推奨しているかと言え、それはあまり大きな比

率ではないということです。

様々な記憶のアプローチがある中で、それぞれの記憶のアプローチの、有効な部分をうまく学習に取り入れて、勉強を進めていく事が大切です。

補足)

瀬川先生は法律の論文暗記に特化した通信制の塾を主催しています。法律の論文暗記は日本の試験で最も暗記が過酷な試験の一つかもしれません。その法律の論文暗記に特化した暗記メソッドとして、瀬川先生オリジナルの方法論があります。私は多くの学習方法を世界から集めていますが、大変稀有にして効果的だと、私自身感じましたので、一緒にお仕事をさせていただいています。

休憩しましょう

少し読むのに疲れたら休憩してください。以下の動画は、私がTV出演した際のもので、私のクライアントの方であり、現在名門高校に通っていらっしゃるお子さんを持つ保護者の方や、慶應大学に合格した方が、コメントをくださっています。



KBS京都(京都放送)様のTV番組
「ぼじポジたまご」で
会社やサービスが紹介されました!

どんな会社、サービス内容かをご覧くださいませ。

再生しながらこのページを
お読みいただけます。



このレポートの執筆者の牛山が出演した、ぼじポジたまご出演動画をご覧ください。こちらをご覧ください。

http://www.youtube.com/watch?v=SwBuRcIvVXc&feature=player_embedded

早稲田大学合格者への合格後インタビュー動画

http://www.youtube.com/watch?v=tlBrhxxkudz&feature=player_embedded

■具体的な記憶術のやり方

(記憶術がどんなものかご存知なかった方へ　こ
こから下は記憶術のやり方の基本情報です。)

記憶術とは、人間のイメージ記憶能力を利用して
忘れにくくするテクニックのことです。
論より証拠。まずは体験してみましょう。

りんご、馬、へび、大根、きのこ、にわとり

この6つの単語を順番も含めて正確に覚えておかなければならないとしましょう。

その際に、次のような想像をします。(頭の中にイメージを描けばOKです。)

●あたまの上にめちゃくちゃに大きな（1メートルくらいある）りんごが落ちてきた

●口の中に馬の頭が突っ込んできた

●首に大きなへびがまきついた（死も意識するほど恐怖を感じてください。チロチロと舌を出しているへびをイメージ）

●ちくびに大根が直立にまっすぐ2本たった！
（現実にはありえないことですが、かまいませんのでイメージしてみてください）

●パンツの中にきのこが入った！

●足の下ににわとりが二匹いて、まるでローラースケートのように走ることができた！
（完全にマンガの世界ですがOKです）

はい。それではイメージを終了して、頭から思い出してみてください。

あたま→
口→
首→
乳首→
パンツ→
足の裏→

すべて思い出すことができたはずです。

あまり勉強しているという感覚は無かったかもしれませんね。そしてしっかりと記憶に残りました。ここでは一番の基本形を学びました。

これよりも、試験にもっと使える形で教えて欲しい、大量にものを記憶する方法や情報を知りたい、こういう希望をお持ちの方は、無料のメールマガジンにご登録ください。記憶術の方法やたくさん覚える際に必要なことをさらに詳しく解説します。

メルマガを読めば記憶術が、勉強の害になる可能性も理論的に納得できるでしょう。

記憶術を使う時に、損をしない為に試験に使える

記憶術の方法とやり方をご希望の方は
下記のメルマガに登録してください。記憶術の他に、
たくさん記憶する為に重要なことをお伝えしていきます。

- 伝説的な書籍が絶版となった為に、いくらお金を出しても手に入らなくなった情報
- 数百冊分の勉強本の結論
- あなたが受験対策で多額の損失を出さない為の情報
- 東大生が使っていた記憶術のやり方とコツ
- シンプルな記憶術（日本史の内容を記憶してしましましょう。）

など盛りだくさんでお送りします。記憶術を勉強の中でどう使っていくべきか？も分かります。

※ご注意 記憶術は確かに強力ですが、一日で教科書を全部丸暗記するなどの芸当はできません。

キーワードをいくつも覚えていく事は可能です。

例えば300個とか、それくらいの数字は現実的な数字です。

しかし、特定のキーワードを300くらい覚えるだけなら通常の記憶方法でも覚える事が可能ですね。記憶術を使う目的は、長い期間忘れにくくすることにあります。

とくに記憶術は文章を丸ごと覚えて丸ごと再現するようなことはほぼできません。記憶術の世界選手権では、トランプのカードを覚えるなどのいくつかの種目がありますが、それらの記憶事項を1項目1秒で覚える事ができて通常学習対象は当然ですが、1秒で覚えるようなことはできません。

その理由は、あらかじめこれらの競技用に、適した下準備をしているからこそ、トランプは記憶できるのであって、下準備をしていなければ記憶できない為です。このあたりの裏事情も含めてメルマガでは記憶術を具体的に解説していきます。記憶術以外の記憶方法や、大量の記憶を作るヒントをメルマガ会員さんにはお届けしていきます。

試験に使える記憶術と大量に覚えるポイントが届きます!

初めての人も、もう一度失敗した人も
ぜひお試しなさい!

とっても覚えやすい
記憶術
カンタンに解説

- 記憶術のやり方
- 100点の秘密
- オール5になる方法
- 資格試験合格のポイント
- 裏技勉強法で○倍のスピードになる
- 伝説の東大生情報(医学生)

※Yahoo!, MSN (Hotmail)、携帯電話のメールアドレスはほとんどメールが届きません。

覚えられる気がしない
すぐに忘れてしまう
成績や点数が伸びない

メルマガ会員に 解決方法 プレゼント!!

<http://maishu.kir.jp/base/kioku.html>

※メルマガジンに登録される方は上記のページに同じ画像がありますので、そこでご登録ください。

テストの問題を記憶する記憶術の使い方や、大量の記憶作りに際して大切なポイントなどを解説します。

私たちの頭の中で
起こっていること

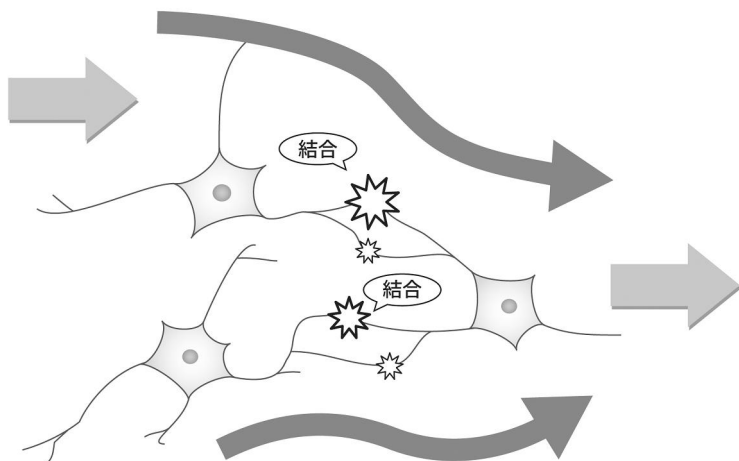
記憶作業や勉強をやっている時に、私たちの頭の中で起こっていることはどのようなことなのでしょう
うか。

図で説明してみます。

一つの勉強法をどのように考えるべきなのか？
ということは、極限までシンプルに表現した場合、頭
の中で以下のような作用を、効果的に起こすにはど
うすればいいか？ということです。

私たちの『記憶』が可能なのは、頭の中でシナプ
スがつながるからです。

私達の頭の中で起こっている事



記憶はシナプスがつながる事で作られている

目で見たり、耳で聞いたり、手で書いたり、口で唱えるそれぞれの方法は、それぞれにメリットやデメリットがあります。

それらのメリットやデメリットを分かった上で効果的に組み合わせる必要があります。その理由は、勉強の対象によって、何が効果的かは変わる為です。

物事をあえて複雑に考えていくと、各論的に論点が複雑になっていき、実態を捉えにくくなります。ひとつだけ確かなことは、私たちが試験に合格する為に大量に何かを記憶するという事は、このシナプスの結合を大量に作るということです。シナプスの結合量が少ない人は、物を少ししか覚えておらず、大量に結合している人は大量に記憶しています。脳科学的に明らかになっていることですので、誰がどのように考えようこの点については、ひっくり返らない真実なのです。

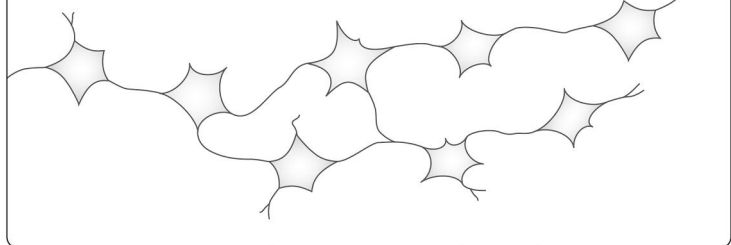
私と弁護士と医師の3人で書いた勉強法最強化PROJECTは、このように、シナプスの結合量を最大化させるにはどうすればいいのか？ということ論考した書籍になっています。

つまり、大量に記憶を構築することをシナプスの結合量を軸に考察し、いかにして物理的に効率よくこの記憶量を積み上げるかを考察しているということです。文系のプロフェッショナルである弁護士や理系のプロフェッショナルである医師が執筆しているのは、理論と実態が乖離（離れること）しないようにするためです。

学習効果最大化論

成長の原理に基づいて学習効果を計測・判断する事で、物理的にシナプスの結合量が最大化される学習法を論考したもの。

勉強法 最強化プロジェクト (エール出版)



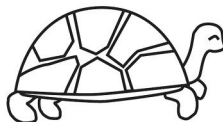
それでは、どうすれば、大量にシナプスが結合した状態を作ることができるのでしょうか。このことを考える上で知っておかなければならないのが、脳の可塑性という性質です。

シナプスとの可^か塑^そ性(変形しやすい性質のこと)

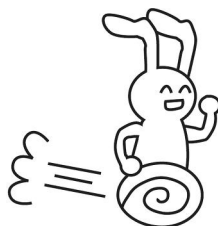
分かりやすく言うと

最初はカメの
スピードだったものが

ノロノロ…



ウサギのスピードになる



脳の可塑性とは、ゴムボールのように形を一定に保つような性質のものが変形させられた時にその形を保持しようとするような性質のことです。

イメージ的にご説明すれば、粘土を上から体重をかけてぐにゃりと変形させた時にその状態がそのまま保持されるようなイメージです。

シナプスの結合にもこのような性質があり、一度つながったシナプスはずっと結合されたままの状態になることも可能です。では一度つながったシナプスはもう永久につながったままでしょうか。皆さんがご経験されているように、勉強をしても次々に忘れていきます。

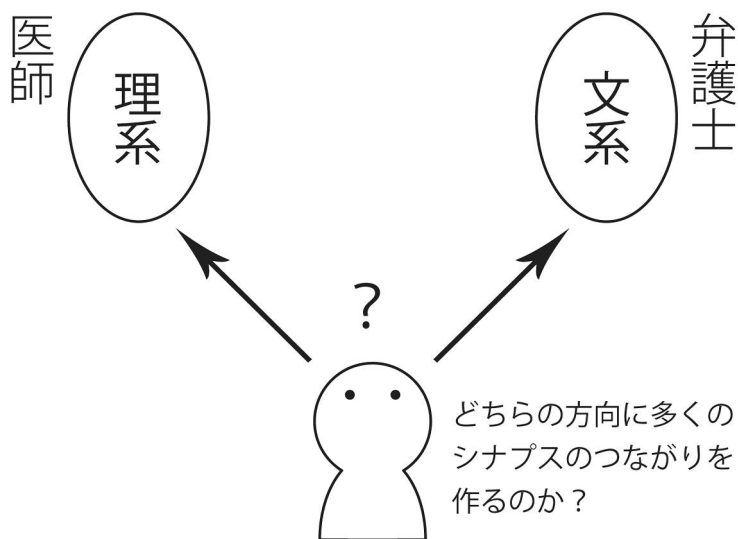
このように忘れてしまうのが、脳の自然な状態で、勉強をする際には、忘れないように（シナプスが結合されたままの状態を保つように）勉強が行われなければなりません。

シナプスがつながったままの状態を作るには、脳の可塑性という特質を利用する必要があります。最初はスムーズに流れず、カメのように遅かった電気信号の伝わり方が、生理活性化されることで高速になり、なかなか忘れにくくなるというメカニズムが私たちの脳にはあります。

この特性を利用して、勉強のあらゆる対象に、高速で電氣的な刺激が流れる状態（言い換えれば記憶が整理活性化された状態）を作ることが、大量の記

憶を保持することへとつながります。

平たく言えば、どんな試験でも合格する大量に記憶がある状態ということです。



専門家と言われる医師や弁護士の知識もこのように一つ一つのシナプスがつながっていった状態と表現することが可能です。この図の方向性は『判断』のひとつです。

それでは、何が私たちの記憶量を決定づけるのでしょうか。それは、効率、やる気、判断の3つです。

《やる気》

なるべく長い時間勉強をして、シナプスがつながる量を増やします。

《判断》

どのようなやり方がいいのかを判断したり目指すべき目標を判断したり、上記の図のように方向性を判断します。この勉強方法がいいとか、悪いという判断も含みます。

《効率》

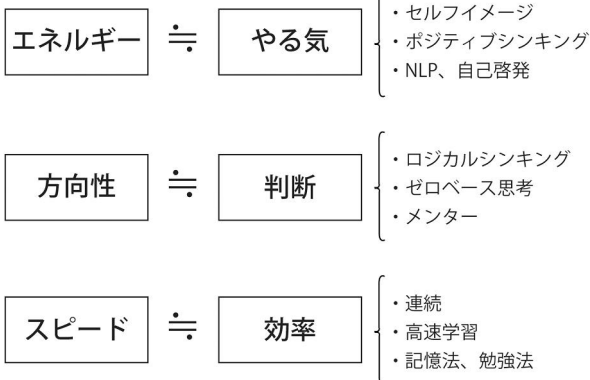
シナプスをつなげるスピードを決定づけるのが学習効率です。

上記の3つが、私たちの記憶量を決定づけます。

物理的に移動を可能にする
3点によって改達地点が決まる

成長の原理

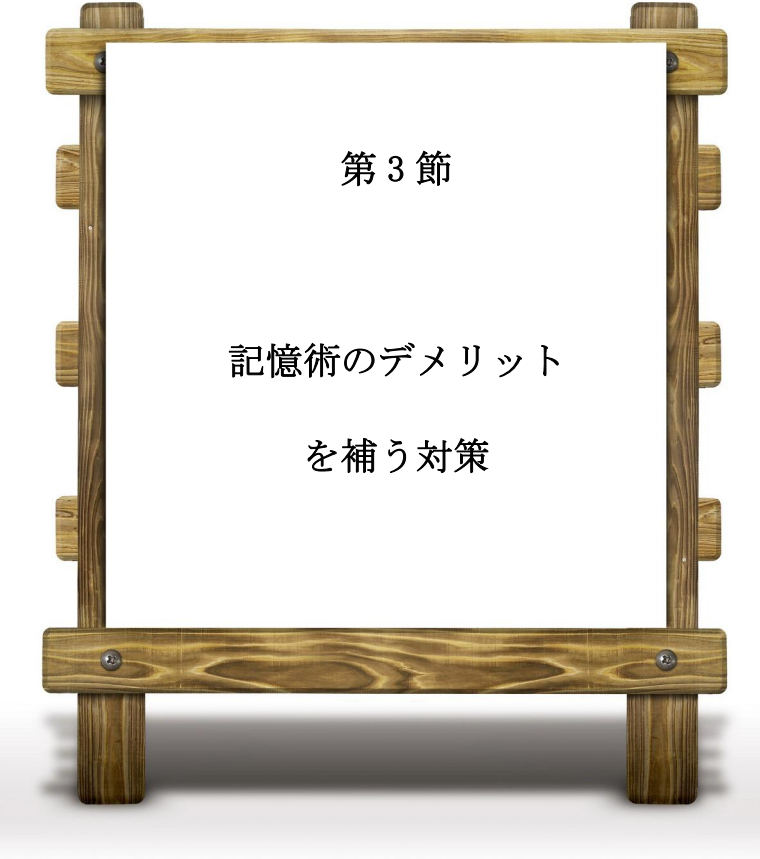
なぜ人は情報を集めて失敗するのか？
目標達成論して詳細を説明しています。



上記の仕組みを解説したのが成長の原理です。

<http://maishu.kir.jp/book/f/index.htm>

こちらのウェブサイトで目標達成論（エール出版社）を無料でいくらか読む事ができます。

A rectangular wooden frame with a white center. The frame is made of dark-stained wood with visible grain. It has four main corner posts and several smaller horizontal and vertical pieces that look like decorative joints or supports. The white center contains Japanese text.

第3節

記憶術のデメリット

を補う対策

■そもそも記憶術とは何なのか？

記憶術とは独立した記憶方法として特別扱いするようなものではありません。

記憶術というのは、人間が持っている記憶の性質（イメージ的なものの方が無意味な記憶のつながりよりも、よりよく記憶に残る）を利用した記憶方法なのです。

これをエピソード記憶と呼びます。例えばあなたが、初恋の恋人とデートに行った時のことを思い出してみましょ。それは公園だったのでしょうか。それとも海だったのでしょうか。

いずれにしても、あなたにとっての思い出として、きっと鮮明に残っているのではないかと思います。

まだ恋人がいない若い人の場合は、自分が好きな異性と、話した内容や、その相手との思い出を思い出してみてください。

思い出すことができますね？

その理由は高次の記憶となっている為です。人間の記憶は、このようにイメージ的なものであり、経験をベースとしたものは、高次の記憶として残りやすい性質があります。

これを利用するのが記憶術なのです。

ところで、なぜこのような記憶が記憶に残りやすいのでしょうか。

理由はいくつもあります。

自分の中でのエピソード記憶を構成している構成要素である、感情、視覚的イメージ、感覚的イメージ、行動したイメージが、複合的に多面的に記憶を構築しているからなのです。

上記のように、記憶術とは、単にエピソード的な記憶をうまく活用した技術と言い換える事ができます。

■ 記憶術を記憶全体（勉強法全体）から考えた場合の問題点と歴史

～記憶術が科学的に検証されてこなかった歴史～

ところが記憶術の教材というのは多くの場合、単に記憶術として独立している為に、本来の記憶するという目的がいつの間にか、記憶術を学ぶという目的にすりかわってしまうのです。

ここが大きな成果を得られない最大の理由です。手段の目的化が起こっているということです。

そもそも、狭い範囲の記憶の一テクニックが、記憶全体のテクニックや技法、理論や原理を無視して使われて目的とされるので、テクニックを無理やり使おうとしたり効果がないものを使い続ければいつか魔法のように天才脳になり、あなたは変わるということをまるで宗教のように信じ続けなければならなくなるのです。

論理的に考えてみましょう。考える事を放棄して、信じるのではなく、科学的に論理的に考えて

なぜどうして、特定のテクニックに効果があり、特定のテクニックには効果がないのかを考える必要があるのです。

一つのテクニックに習熟したからといって、全体の勉強の効果（パフォーマンス）が著しくあがるようなことが本当にあるのでしょうか？

この点については東京大学の医学部をご卒業されてご活躍されている和田氏がその著書の中で興味深いことを述べています。

学習効果を考える際には、方法が占める割合が多いので、方法を変える事が一番短期間で効果を引き上げる事ができるという趣旨のことだったと思います。勉強を科学的に考えようとするそのスタイルに私は大変共感を覚えたことを記憶しています。私の勉強に対する研究のスタンスは氏の立ち位置に少し似ていると思います。

和田氏は東京大学の合格支援で有名な方ですが、私は慶應大学の合格支援で書籍を書いています。

※現在も一冊執筆中です。（2011年11月現在）

勉強は科学でなければなりません。何かを信じたり、何も考えない事は、多くの場合判断ミスにつながります。

宗教は信じる事が大切かもしれませんが、なぜならば形而上の事だからです。

しかし、勉強の効果は測定できるのです。形而下の現象である為、勉強の対象は科学的に考えられるべき対象です。

私は勉強を科学的に考える研究を行っています。小論文の講師としても、論理的に減少を考察して、本当に世界一の学習効果をどのようにすれば得ることができるのかを考察してきました。

その結果は

- ・なぜ人は情報を集めて失敗するのか？ 目標達成論
- ・勉強法最強化 **PROJECT**

に書いています。再度のご紹介となりますが、ご了承ください。

目標達成論については弊社の **TOP** ページからお読

みいただくことができます。

(TOP ページの右側にある本の画像をクリックしていただきますと、お読みいただくことができます。)

<http://maishu.kir.jp/book/f/index.htm>

勉強を科学的に考えて、どうすれば学習効果が高くなるのかについての考察を
脳科学、心理学、臨床心理学、などの学問の知見を
応用して横断的に行っています。

勉強法最強化 PROJECT とは、最強の勉強法はこうであるという書籍ではありません。

勉強効果最大化論なのです。(勉強の効果はどうすれば最大化されるのかについての考察、論考)

学習効果最大化論としてお読みいただければと考えています。

試験合格に特化した内容であることを前提としています。

それは著者に東京大学法学部合格、開成高校出身、鬼も裸足で逃げ出す旧司法試験合格（世界最難関と言われた合格率3%の超難関試験）の石原氏や、医師の斉藤氏が加わっていることを考慮していただければ容易に推察できることと思います。

ちなみに石原先生は、弁護士事務所を経営され、兄弟で東京大学合格、司法試験合格者を多く雇用するいわゆるボス弁です。（雇われている弁護士ではなく、ボスとして経営している弁護士）

多くの司法試験合格者の知見を集めることができる稀有な人だという認識で上記の書籍をお読みいただければと考えています。

■ 記憶術の方法の分布について

記憶術の方法は〇〇式などのネーミングで多数市場に存在します。これらの記憶術はいったいどこが違うのでしょうか。私の調査では、記憶術の根本的な原理に違いはありません。

なぜ〇〇法、〇〇式と雨後のタケノコのように次々に記憶術サービスを提供する業者が登場するのでしょうか。その理由は、速読と同じで、それらのサービスを提供する事で、利益を得る為です。

これは当然の市場の活動であり、特に問題ではありません。問題なのは、そうやって生まれた業者が速読などのように一定の商業倫理を満たしている業者が多いのとは対照的に、過剰な広告宣伝（効果効能を極端に宣伝するもの）を行う事が問題なのです。

例えば、簿記の勉強内容を教える業者があったとします。会計の専門学校や、資格試験、検定試験予備校などがそれにあたります。

このような学校が、極端な合格率を声高に叫んだり、簿記の超絶勉強法などということはまずありません。

しかし、記憶術に関してはそのような効果効能に関する宣伝が大きくなされており、そのことが原因で市場が混乱することが大きな社会問題になっていると私牛山は考えています。

記憶術のランキング等により、消費者が受ける損害
についての考察

<http://maishu.kir.jp/base/kiokuujyutsu2.html>

すべての記憶術は原則としてエピソード記憶の有効性を活用したものでした。

あえて機能による分布を試みた場合、以下のような特性があります。

1) ～能力開発系とテクニック系～

能力開発系・・・記憶術を練習する事で従来の頭脳活動では得られなかった特別な効果が得られるようになるという理論の元にサービスを提供する類いの記憶術サービス。

テクニック系・・・能力開発を推奨せず、テクニック、方法の改善によって従来の頭脳活動では得られ

なかった特段の学習効果が得られるという理論の元にサービスを提供する類いの記憶術サービス。

2) ～自分の実績を元にしたケースと、理論を元にしたケース～

記憶術のサービス提供者の中には、自分自身が達成した試験突破の実績を元に、効果的だと論じている類いと理論的に考察した上で、学習効果を論じている類いのものと大きく二つに分けることができます。

3) ～セミナー系と個別指導系・教材系～

記憶術はセミナーであれば身に着けやすいと論じるケースと、遠方でも関係がないと論じるケースです。

4) ～特段の効果が得られると論じるものと、特段の効果が劇的に起こるわけではないと論じるもの～

効果効能についての宣伝に関する分布：

記憶術の効果効能については、分布状況（サービス提供者によって、意見がバラバラ）があり、一言で言えば、天才の頭脳になると謳う類いのものがあります。

上記の1～4について、重複となるかもしれませんが、私の考えとリサーチ結果を述べておきます。

まず記憶術について、能力開発が行われるかという論点についてですが、私は懐疑的な立場を取っています。人間のイメージ化の能力は短期間で大きく開発できるものではありませんし、同時に記憶術というテクニック自体が解剖するといくつかのステップによって構成されており、この各ステップで、イメージ化の力が引きあがるからと言って、必ずしも記憶に残るというわけではない為です。

例を挙げましょう。

例えば、記憶術のステップは以下のようなステップから構成されるのが基本です。

- 1) 記憶する対象の記憶術適用の為の分解
- 2) 分解したキーワードの変換
- 3) 変換したキーワードのイメージによる結合
- 4) 想起による確認

上記のステップの中でとりわけイメージによって改善されるのはステップ3だけです。

重要な事は、記憶術を使っても忘れることがあるということです。

例えば、ステップ2のキーワードの変換という部分ですが、覚える項目数が3000項目あった場合は3000個の変換を記憶する必要があり、この部分は必ずしも、エピソード記憶化できない部分です。

つまり、忘れる可能性があるということなのですが、効果効能を大きく謳う業者はこの点を販売時に語る事はほとんどなく、隠したままで忘れないと謳っている事が多いものです。

ここに、販売上の問題点があり、同時に能力開発によって記憶の力が伸びるわけではない大きな理由があります。

逆に言えば、この点を改善することができれば、記憶術の効果を大きくすることが可能です。その点については後に述べます。

～自分の実績を元にしたケースと、理論を元にしたケース～

記憶術のサービス提供者の中には、自分自身が達成した試験突破の実績を元に、効果的だと論じている類いと理論的に考察した上で、学習効果を論じている類いのものと大きく二つに分けることができます。

しかし、これはここまでで述べたように、自分の実績を元にした理論というのは、いくつかの問題点があります。

1) 実績を元にした理論の問題点

第一にその人が本当に記憶術を使ったのかどうかを確かめるすべがないことです。

2) 実績を元にした理論の問題点その2

第二に、その人が受験した試験の内容が、記憶をメインとした試験であったかどうか、換言すれば記憶術のテクニックが有効に働く部分が配点の80%程度を占めていたのかどうかという点です。

したがって、本来記憶の技術を提供する場合、その実績は本人の実績をメインとして効果効能を論じるのではなく、どのような勉強方法が有効なのか、それはなぜなのか？仕組みはどうなっているのか、ということ、実証されている研究結果を元に、理論的に論じて説明していくことが重要だと私は考えています。

3) 実績を元にした理論の問題点その3

第三に、単にがんばったから合格していたなどの別の理由の可能性があります。

試験に合格する理由は主に以下の3点です。

- 1、頭が良かった
- 2、家庭が裕福だった（充実した勉強環境と人の倍の時間）
- 3、方法が良かった

実際には、1～3の複合的な影響で最終結果の成績は決まるので、難しい試験に合格していた人が方法が優れていたと考えるのは大変無理がある思考過程です。

上記のように、主に3点の理由から、理論を元にした記憶サービスの重要性が高いと私は考えています。

～セミナー系と個別指導系・教材系～

記憶術はセミナーであれば身に付けやすいと論じるケースと、遠方でも関係がないと論じるケースです。

私はこの点については、個別指導、教材系が重要だと考えています。

その理由は以下の通りです。

- 1) インターネットや DVD の普及で学習効果がセミナーと同等かそれ以上になっている為
- 2) 価格を最小限に抑える事が出来る為
- 3) 忙しくてセミナーなどをいちいち開いていられない一流の弁護士や、法律家、専門家のサービスを自宅で受けることができる為

順番にご説明します。

理由 1) 今の時代は昔の時代のように、直接なんでも教えてもらわなければならない時代ではなくなりました。

昔の教育が残っている事にもいくらか問題があるのです。なぜならば、受講者にとって重要な事は、一番教えるのがうまい人、一番詳しい人、一番学びが大きい人に教えてもらうことだからです。

世界で一番数学を教えるのが上手な人に数学は教えてもらうのがいいのと同じで、記憶術も然りです。今はインターネットもあれば、DVD もあります。そして、それらに無料の相談サービスがついているのであれば、何も時間とお金を無駄にして、交通費にお金をかけなくてもいいのです。その交通費を速読の教材を受講することに回せば、記憶術と速読がマスターできますし、その分を英語の勉強を教えてもらう事に使えば、場合によっては中学生で慶應大学に合格できるくらいの英語力を身に着ける事もできるのです。

偏差値が70を超える、80を超える状態にする事ができるわけです。

それにもかかわらず、単にその人の目の前にいくだけの為に多くのお金を使えば、講師と受講者の側の両方で無駄に時間とお金を失います。こんなに成長の機会を無駄にするバカなことはありません。

個別指導のメリットとは、マンツーマンにあります。その為私が個別指導をする場合は一日かけて新幹線に乗り、そのご家庭まで伺い、その人だけの為

に時間を作ります。多くの受講者がいる目の前では電話以下の質問しかできないことも多く、講師を独占できないので、質問も限定的になりがちです。(相当無神経で無ければ)

その為、今のようなサイバー時代には、DVD やインターネットでのメール、スカイプや、電話を駆使して限られたお金、リソースを有効に活用して、学びの機会を大きくした方が実りも大きくなります。

理由 2) 価格を最小限にすることができる為。

上記に詳しいことは述べました。記憶術だけではなく、英語や速読、その他の試験の参考書や問題集を購入する事で、時間をかけずに点数をあげるようなものに有効に資源を使う事をお勧めします。世界で記憶術だけがあなたの問題を解決するわけではなく、記憶できないという問題なら家庭教師の方がいいこともあるのです。あらゆる選択肢を考えてあなたの目標達成の可能性をギリギリまで高くすることをお勧めします。(お金があまったら、家族にプレゼントをするのもいいかもしれません。)

理由3) 忙しくてセミナーを開けない人の知見も
得ることができる為

セミナーを開いている人はセミナーを開く時間があるので、セミナーを開いています。例えば私が一緒に本を執筆した石原先生などは大変忙しくしており、セミナーを開くような事はしません。しかし教材なら、このような人の知見も得ることができるというメリットが受講者にはあります。

4)

～特段の効果が得られると論じるものと、特段の効果が劇的に起こるわけではないと論じるもの～
効果効能についての宣伝に関する分布：

記憶術の効果効能については、分布状況（サービス提供者によって、意見がバラバラ）があり、一言で言えば、天才の頭脳になると謳う類いのものがあります。

私はこの点について、特段の効果が劇的に得られ

るわけではないという立場をとって、サービスを提供しています。自分が受験生の立場になれば、やるのかやらないのかと聞かれれば、確実にやると答えますが、だからといって、30分弱で1000項目覚えて忘れないなどということをやったり、この方法で特定の試験に合格するという事は言いません。

効果的かどうかという程度の問題がここにあります。

何かの試験を受験する際に役立ったと述べるのか、気絶するくらいの学習効果があり、忘れないと述べるのかの違いです。同じように思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、これは法的な問題も含めて大変重要な問題であり、軽視できない問題です。

記憶術そのものは暗記科目に使うべきものです。そして、他の科目には大きな効果はありません。そしてここまでに述べたように、変換の部分で忘れることもあるなど、記憶術そのものは、万能ではありません。記憶術を使っても忘れるのです。

記憶術を使っても忘れるという点は、理論的なものではなく、10項目くらいを

記憶術のテストとしてやってみれば簡単に分かります。

そこで、このデメリットを補う事をやる必要があるわけです。

■記憶術の弱点を補う対策とは、原則としては得意分野への活用

記憶術のデメリットを補う原則的な活用の方向性をお話しします。

記憶術を、記憶術の得意分野に使う事が、原則的な活用のポイントです。

記憶術を数学に使ったり、物理に使ったり、英語に使う事なく、記憶術を、エピソード記憶が得意な分野に使う事で、学習の効果を大きくしやすくなるということです。

決して数学や物理がこの記憶術で解決するとは思わない事が大切です。

記憶術そのものを進化させて、最上位の（と呼ぶのはおかしい話ですが）記憶術の特性を活かした記憶方法に特化するのが一つの方法です。つまりは、右脳をあらゆる形で刺激する類のものです。右脳をあらゆる形で刺激するという事は、エピソード記憶を徹底的に活用するという事です。

その極みは、芸術の分野になります。そして、その極みは、映画のような世界になります。映像を頭の中で思い描き、そこで大きな音が鳴っているのをイメージしたり、恐怖や楽しいなどの大きな感情が心の中にわくようにしたり、自分がその世界の中に入っていく、何か行動をしたりというイメージが爆発した世界が、エピソード記憶を徹底活用した状態です。ちなみに、私が開発している記憶術はこの類のものです。ですから最初から暗記科目等の暗記項目を記憶しきることに特化した記憶術となっています。

（理体験・芸術映画記憶術）

理由の理という文字がついているのは、人間が何かをイメージする際には、理由をそこにつける方が、

ストーリーを記憶しやすいからです。例えばタイタニックという船が沈没する映画を見た事がある人は多いと思います。あの映画のストーリーで、どうして主人公は必至に逃げていたのでしょうか？そうです。船が沈没したからです。当然なのですが、ストーリーの骨子を覚えている理由とは人間が理由によって覚える量を減らす事ができるからなのです。この特性と、エピソード記憶は相性がいいので、理体験・芸術映画記憶術という名前になっているのです。

このような名前にした理由は、私が何か情報発信をすると（このレポートも含め）すぐに真似をして自分の生徒に、私が開発していた・・・という風と言って教えようとする人がいるからです。教える事は悪くはありませんが、そうやって毎度毎度嘘をつかれていて、先ほどご紹介したように、カルピスの原液を薄めたノウハウばかりが出回って不幸な人が増えるので、あえてネーミングを上記のようなネーミングにしたわけです。私がメールマガジンや教材を出してから2週間以内には同じ事を言っているので、なぜここまで徹底してマネをされるのか、理解に苦しみ、上記のようなネーミングにしました。

もう一つの記憶術の弱点を補う対策とは、記憶術のメリットはそのまま活かし、弱点については無視をして、他の手法で補うアプローチがあります。これは勉強法最強化PROJECTに書いた通りです。

(新・記憶の技術 大量記憶マニュアル)

上記の講座で上記のアプローチについては、詳しく解説しています。

記憶術を中心に物事を考えないのであれば、対策は大きく以下の3つになります。

- 1) 記憶術と記憶の技術を融合させる（高速学習に連結する形の記憶術を使う）
- 2) 最初から速読などの他の技術を使う
- 3) 言語系の科目については、言語系科目のスキルアップ法に特化したアプローチを用いる

■ 記憶術の弱点を補う際に考えるたちごっこ

記憶術の種類がたくさんあるのは、速読や簿記と同じ理由です。

他の業者が新しく発売する為です。市場はこのように動きますから、特にその点について思い悩む必要はありません。

重要な事は、それらがいたちごっこによって増えていったということです。

このようにレポートができれば、またそれに対応した文句の記憶術の教材が生まれます。そして、そのような記憶術教材というのは、このようなレポートを参考にしていたり、私が解説する教材を参考にして作られているので、実質的にはコピー品なのです。

コピーが優れていれば大きな問題はありません。しかしそういうコピー品は、コピーする事が目的で、学習効果が目的ではありません。

その為、全く不要な勉強方法、記憶方法が教えられ続けるというデメリットがあります。

このレポートで、どこがコピーでどこがそうでは

ないのかを述べる事はできませんが、私が新しい教材を出したその直後2週間後にはコピーが出ていたということも珍しくはありません。

このレポートでは記憶術に関する情報のごく一部を私から皆さんは学ばれていると思いますのでぜひそのような知見を活かして、どこがコピーでどこがコピーではないのかという点を、大切にして学ばれる事を強くお勧めします。

■ 記憶術の特性を強化した記憶術

再度同じ事を確認しましょう。

もう一つの記憶術の弱点を補うアプローチがあります。それは弱点には目をつぶり、徹底的に記憶術が記憶に残りやすい仕組みを有効に活用した記憶術を使用するというアプローチです。

記憶術のデメリットは、想起するのに時間がかかるということ、覚え込むのに実は変換などの

行為があるので、余計な時間がかかるということです。

つまり、記憶術とはそのまま覚え込むよりも少し多めに時間を取るけれども、忘れにくくするというテクニックです。

このデメリットが語られる事はほとんどありません。

まず変換に時間がかかります。そして、想起するのも時間がかかります。確認にも時間がかかります。

その理由は、変換したものを頭の中でつなげているからです。

ではこのようなデメリットがあるので、記憶術は一切使わない方がいいのでしょうか。実はそうでもありません。このようなデメリットがあってもやはり忘れにくいので記憶術を暗記科目に使う事はお勧めできます。

問題はこのようなデメリットに対してどのくらいのレベルで見返りがあるのかという事です。

あまり見返りが無いのか、それとも徹底した見返り

があるのかということです。

ここで思い出していただきたい事があります。なぜ記憶術は有効なのかという理由です。記憶術は原理的に、人間が持っているエピソード記憶の強力な記憶への根付きを利用したテクニックでした。

その際の原理とは、感情、感覚、行動などを伴った高次の記憶は記憶に根付きやすいというものです。ですから、記憶術では、感情や、感覚や行動が重視されなければ、エピソード記憶の力が弱くなるのです。これは原理的な問題であり、脳科学的な問題であり、理由です。

あえてデメリットを受けていれて、記憶術を使うのであれば、これらのエピソード記憶のメリットを徹底的に享受する必要があります。その特性を活かして、構成された記憶術教材があります。

芸術映画 理体験記憶術という記憶術教材です。(記憶術業界最長の1年間全額返金保証付き記憶術)

■ 記憶術のデメリットを高速学習で補うケース

記憶術のデメリットを補う方法は他にもあります。記憶術を限定的に使い、学習の効果を大きくする方法です。

記憶術を全部に対して使えないなら、記憶術の効果が大きいところにだけ使えばいいというのが私の考えです。記憶術以外の方法の方が学習効果が大きいところには、他の方法を使いアプローチをする事で、記憶術の効果を最大限に発揮して、学習効果を最大化させることができます。

このような考えは、勉強法最強化 **PROJECT**（エール出版）の考えと同じです。

上記の勉強法最強化 **PROJECT**（エール出版）との姉妹教材がこちらの教材になります。

新・記憶の技術

<http://maishu.kir.jp/base/base.html>

■ 記憶術を使わないというケース

記憶術を使う事で問題が解決するわけではない理由はこちらまでに詳しく述べてきました。
ではどうすれば問題が解決するのでしょうか？

私はその分野ごとに最適な学習方法を用いる事で、問題が解決すると考えています。

どのような科目であっても、

思考系科目
言語系科目
暗記系科目
理数系科目

の4つの類型に分類する事ができます。

これらのすべての類型に応じた最適な勉強方法を用いれば、学習効果は大きくなります。

■補足：勉強法以外にもっと大切な事がある

あなたは今どれくらいの勉強時間があるでしょうか？

例えば1日に2時間くらいしか勉強していないという場合、逆立ちしても、難関試験には合格できません。これは物理的に合格できないわけです。

その理由は、忘れる事が原因となり、短い勉強時間では、難関試験に合格する為の記憶量を確保できない事が多い為です。

方法は無いわけではありませんが、かなり特殊な方法を用いなければ、合格する事ができなくなってしまいます。

その場合は、まずやる気を大きく引き上げる必要があります。

モチベーションをコントロールする技術を身に付ける事が、勉強方法を改善するよりも優先されなければ合格できないということです。

この文章を読んでいるのが、保護者の方の場合、特にこの点を大切にしてください。なぜこんなことが重要なのかについては、同じ紹介になり、恐縮ですが、勉強法最強化 **PROJECT** をお読みください。

本書では、東京大学に合格した石原弁護士が、いかに阿修羅のように勉強をしたかについてのエピソードが書かれています。

精神論と言えば泥くさいかもしれませんが、受験という人生の節目にあって、このような精神論こそがまずは一番に重視されることで多くの問題が解決して、合格につながる人が多いように私は感じます。

弊社ではこのようなやる気の問題もサポートの対象となっています。

本人がやる気が生まれない場合、保護者の方が、お子様のやる気を引き上げてあげたい場合、それぞれ上記の教材をお使いいただき、場合によってはサポートを行う事で、総合的に今抱えている問題を解決し、自発的に勉強をがんばるようになり、当たり前のように難関試験に合格していくようになります。

各試験の合格実績は以下をご覧ください。

■各試験の合格実績と喜びの声

プロフェッショナルのお客様紹介 PROFESSIONAL



牛山先生のおかげで
無事合格出来そうです！
ありがとうございました。

コンサルタントの田中先生

[詳しくはこちら](#)

東京大学経済学部経済学科卒業後東京銀行、外務省、整理回収機構等を経て、三菱東京UFJ銀行を退職し現在はコンサルティング会社代表取締役として就任。

<http://maishu.kir.jp/base/professional.html>



着実に合格への道を
イメージできました。

ファイナンシャルプランナーの鈴木先生 [詳しくはこちら](#)

東京大学工学系大学院卒業後、外資系石油会社、証券会社系経済研究所、カタカナ生保での勤務を経て、2000年に東合型保険代理店を設立。ファイナンシャル・プランナーとして活動。

<http://maishu.kir.jp/base/professional2.html>

薬剤師免許証

登録簿

昭和六十一年一月十五日

薬剤師法(昭和三十五年法律第百
四十六号)により免許された薬剤
師であることを証明する

平成二十一年五月十五日

厚生労働大臣

仲原あ一



薬剤師名簿登録番号

第 00525550 号

薬剤師名簿登録年月日

平成二十一年五月十五日



簿記検定合格証書

1 級

商工会議所第128回簿記検定試験
において頭書の級に合格したことを
証する

平成23年6月12日

日本商工会議所
会頭 岡村 正



施行 東京商工会議所

平成20年度 気象予報士 合格 合格率4.9%の難関を突破
合格おめでとうございます。

気象予報士

登録通知書



昭和48年07月28日生

登録年月日 平成20年10月06日

登録番号 第 [redacted] 号

気象業務法第二十四条の二十三の規定により気象予報士として登録したので通知する。

平成20年10月06日

気象庁長官

平木





2つの法律系 検定試験に合格。

2008年12月14日

記憶塾の塾生の方の合格です。
合格おめでとうございます！

さらにハイレベルな難関試験に今後挑戦
されるそうですので、応援しています。

[記憶塾の詳細はこちら》](#)

ここではお手紙などは掲載していません。

お手紙の内容などをご覧になる場合はこちらからご
確認ください。

<http://maishu.kir.jp/base/taiken.html>

下記の弁理士試験合格者の方のようなお手紙を見る
事が可能です。



第 [redacted] 号

合格証書

[redacted] 殿

上記の者 弁理士試験に
合格したことを証する

平成23年11月8日

工業所有権審議会

会長 野間口 有



合同会社 デジシステム

牛山 恭範 様

いつもお世話になります。

今年2月に弁理士試験対策用に、「大量記憶マニュアル DVD 講座」を購入して使用してきました。

おかげさまで、本年度、弁理士試験の1次～3次試験をパスし、最終合格しました。

特に、速聴は何处でも場所をとらず勉強できたので大変効果的でした。

また、付録で頂いたDVDのお陰で、自然とモチベーションを最後まで維持することができました。

長年苦勞してきたのですが、こんなにすんなり受かってしまうとは、驚きです。

もっと早くにこの講座に出会いたかったです。

本講座購入の際、牛山代表には親身に相談に乗っていただき心強かったです。どうもありがとうございました。

追記)

受験勉強を通じて感じたことを、以下に記載します。HP掲載上不要でしたら、削除してください。

弁理士試験は法律系（一部、選択科目は理数系）の科目です。もともと私は理科系の人間でしたので、勉強当初は異なる分野の勉強にかなり苦勞しました。自分なりに考えた結果、この試験は基礎となる法律とその解釈を習得すること

だと思いました。


試験に必要な知識は、書籍や各種予備校で入手することができますが、その知識を答案に反映するための方法・過程は人々々です。

この試験は、1次試験の短答式試験、2次試験の論文試験、3次試験の口述試験からなります。試験問題はかなりの分量がありますので、ゆっくり考えている時間はありません。特に、口述試験は質問されたら、数秒で答える必要があります。そのためには、頭の中にある知識から適切な答えを引き出す即答力が要求されます。この即答力を鍛えるのに、速聴、速読が有効でした。五感を速く回すことで、頭の回転が良くなり、解答に必要な知識を即座に引き出すことができました。また、雑念が入る余地がなくなり、同時に集中力も高まりました。今は、速聴に使用する機器も比較的安価に入手できるので、これを利用しない手はないと思います。

モチベーションアップのため、具体的な目標を紙（私は手帳）に書いて、毎日必ず見ました。最初は、こんなことで効くのかなと思いましたが、実際に、徐々に「やるんだ」という気持ちが強くなっていきました。

私は、「大量記憶マニュアル DVD 講座」を購入する前に、牛山代表にEメールで相談し、この試験の場合、「大量記憶マニュアル DVD 講座」を薦められ入手しました。ディジシステムには、各種講座が設けられていますので、自分に合った講座を受講するため、是非牛山代表に相談することをお勧めします。親切丁寧な素早い回答が得られます。

以上、まとまりがないかもしれませんが、これから勉強される方の参考にさせていただければと思います。

A wooden frame made of light-colored wood, possibly pine, with a white rectangular center. The frame has a thick top and bottom bar and thinner vertical bars. The top and bottom bars are secured with metal bolts. The vertical bars have several horizontal protrusions. The text is centered within the white area.

第 4 節

ご案内



勉強法最強化 PROJECT

全国の書店で
好評発売中!!

ネットで
今すぐ購入する

上記のボタンはPDFですので押せませんので、お申し込みをご希望の方はこちらからどうぞ。

http://maishu.kir.jp/base/kioku_jyutsu3.html



あなたに合った、あなただけの勉強法を作り
 あなたの試験専用にして
あなたの勉強の効果が最大になる秘訣を
 キャンペーン期間中の今だけ無料で公開します!!

- ・ 3回のE判定から慶應大学に奇跡の逆転合格
渡邊勇輝君 (12月)偏差値38→70越えの慶應大学に合格
- ・ 勉強が全くの苦手な状態から薬剤師試験に合格
- ・ 医師の国家試験で500項目を簡単に覚えられた
- ・ 大阪大学、同志社大学合格
- ・ 大阪大学大学院首席合格
- ・ 化学の定期テストでパーフェクトの点数(満点)
- ・ 合格率4、9%の気象予報士に合格
- ・ 建築物衛生管理技術者試験合格
- ・ 法律の試験にダブル合格(ビジネス法務検定)
- ・ 日商簿記1級に合格
- ・ 広島大学、青山学院大学合格
- 《喜びの声の詳細を見る》
- ・ 早稲田大学合格 横井光太郎君 全国4位
- ・ 慶應大学法科大学院合格
- ・ 慶應大学合格 長嶋 慎君
- ・ 慶應大学合格 溝尻菜子さん
- ・ 慶應大学合格 葛上 洋平君 上智大学合格
- ・ 慶應・早稲田4学部合格
- ・ 京都大学合格
- ・ 英語全国1位 慶應大学合格 中垣 學訓君
- ・ 全国10位 慶應大学合格 中村太一君(TOP1,1%)
- ・ 関西学院大学合格 洪一貴君 大社領賞受賞者
- ・ 慶應大学合格 李 聖愛さん
- ・ 慶應、新潟、明治2学部、中央2学部 大学合格
横浜市立大学5大学7学部全勝合格
三浦 昌平君
- ・ 新潟大学合格 刑部憲太郎君



あるところに
貧しく体が病弱な
青年がいました

病気の為
学校も休みがちで
授業に参加できず
貧しさゆえに
塾へ通う事も
できませんでした

Iwakuma Book

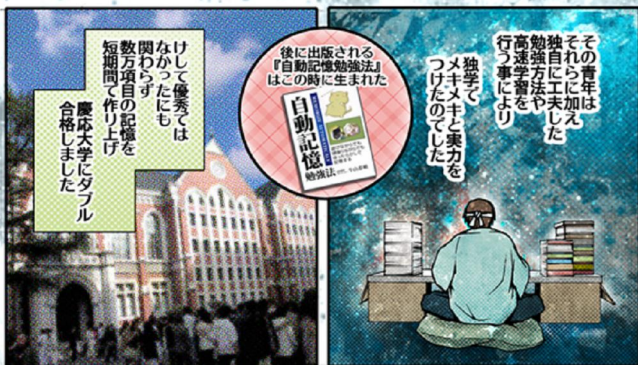
そんな時
ある伝説の
東大生が書いた
一冊の本に出会い
勉強をより効果的に
こなす方法が
ある事を知りました

なんと
その本の著者は
東大・京大・慶應・
早稲田の文系と理系に
合格していました

しかも東大の
医学部に進学し
在学中に薬剤師と
国家公務員
第一種試験にも
合格

予備校で全科目を
教える事ができる
スーパーマルチ
講師として活躍
……と言う
脅威の経歴の
持ち主でした

記憶術や速読、受験のテクニックが大事であることをこの本で初めて知ったのでした!!(全て実話です)



なぜ学習効果が高いのか?

理由は沢山あるんです!!

- 速読などテクニックを使う!
- 勉強の方法が正しい!!
- やる気をドカン!と上げる方法を知る!
- 記憶術を使う!!
- 受験テクニックを知る!



どうやってこんな
劇的な学習効果が生まれるのか?

学習効果をさらに上げる秘訣は
○○○○にある!!

(メルマガの読者だけに教えます!)

次はあなたが
劇的に成績UP!!合格しよう!!



試験に使える記憶術と大量に覚えるポイントが届きます!

とても覚えやすい
記憶術
カンタンに解説

せひお話しください!
初めての人も今まで失敗した人も

- 記憶術のやり方
- 資格試験合格のポイント
- 100点の秘密
- 裏技勉強法で○倍のスピードになる
- オール5になる方法
- 伝説の東大生情報(医学生)

※Yahoo!, MSN (Hotmail)、携帯電話のメールアドレスはほとんどメールが届きません。

覚えられない
気がしない

すぐに
忘れてしまう

成績や点数
が伸びない

メルマガ会員に 解決方法 プレゼント!!



http://maishu.kir.jp/base/kioku_jyutsu3.html

| | | |
|---|---|---|
| <p>成績と合格を決める 最も重要なこと ～親も子も勉強を始める前に知っておくべき最重要点～</p> |  |  |
| <p>速読は2時間で習得できる ～速読習得はちょっと待て！速読習得の助っ手～</p> |  | |
| <p>記憶術と、もっと記憶する技術 ～誰でもできる新しい記憶技術で上位0.1%に入れ～</p> |  | |
| <p>英語は勉強じゃない ～英語オンチの英語嫌いが英語をできる人へ～</p> |  | |

●無料で読む事ができるウェブBOOKのご案内

まだ読んでいなかった方はどうぞ

<http://maishu.kir.jp/base/murixyoujixyohou.html>

●（親用）子供の将来を決定付けるのに世間で軽視されている大切な事
～言いたくなかった本音～

●成績と合格を決めるもっとも重要な事
～親も子も勉強を始める前に知っておくべき最重要点～

●記憶術ともっと記憶する技術
～誰でもできる新しい記憶術で上位 0.1%に入れ！
～

●速読は2時間で習得できる
～速読習得はちょっと待て！速読習得の勘違い～

●英語は勉強じゃない！
～英語オンチの英語嫌いが英語をできる人へ～

Q & A

※以下に記載するのは、実際にあったご質問に口頭でお答えしたものをテキストで起こしたものです。

自動記憶勉強法と記憶術は違うのですか？

もちろん、まったく違いますよ。まったくの別ものです。

自動記憶勉強法というのは、名前だけが独り歩きしてしまったので、大変誤解が多い勉強方法です。

自動記憶って自動で記憶を全部できるから魔法の勉強方法なんでしょう？

とか、

自動記憶勉強法って嘘でしょう？

とか、

自動記憶勉強法って結局遅いから、意味がないでしょう。覚えられるけど無意味ですね。

とか

こういう風に勘違いをされることが多いです。こ

れらは全部本質的な意味を把握できないことから生まれる誤解なのですが、誤解が最初にくると、それが怒りに変わってしまって、批判をしたりする方もいらっしやるようですね。

どんな学習テクニックもそうですが、まず使いこなせないと、意味が無いし、一番理解されにくいところですが、メリットとデメリットをきちんと把握して、使い分けないと、利用する人は必ず損をします。どんなに価値があってもその価値を理解できない状態になってしまう。だから誤解をするし、本質的な価値に気づくことができずに、損をしてしまいます。

自動記憶勉強法を使いこなした人は、大阪大学の大学院に主席で合格したし、難関試験に合格しています。使いこなせなかった人が、勘違いを元にして批判することは今までにありません。

要するに勘違いを無くせばいいんですね。そこが一番重要だと思います。利用する人にとっての価値は利用する人がどのような問題を抱えているかによって変わるし、間違いが無いのは、利用する人が試

験などに合格することが一番の価値ですからね。

法律試験の論文試験対策や理数系の科目には使わない方がいい勉強のアプローチです。

自動記憶勉強法が記憶術と違うところはどこですか？

記憶術は、イメージの話ですよ。イメージの中で、つなげる。変換した、AとBをつなげるというのが、記憶術のテクニックです。自動記憶は、そもそも変換しません。

大量に記憶を構築するには、2つの方法しかありません。エピソード記憶を使うか、繰り返すんですね。そして、自動記憶は、繰り返しの方なんです。記憶術は、体験型の、完全にエピソード記憶なんですよ。

この点が違います。

だから、そのまま順来の教育現場で、推奨されてきたようないわゆる丸暗記のような記憶をつくるのがこちら（自動記憶）では出来ず。

それも、かなり問題があるんですよ。遅いっていうことと、意外と不確か、復習の実行率とかもあるんです。これらが自動記憶のデメリットです。

※自動記憶は吹き込むといわれましたけど、たとえば、洗濯とかたたみながら聞いているとして、そんなに、意識としては、めちゃめちゃ力を込めて集中して聞いているわけではないでしょう、頭のなかではなんとなく、英語としたら訳が浮かんでくるとというイメージですか？

最初は、ぼんやり浮かんでいたのが、はっきり、くっきり浮かんでくるという感じです。記憶に関する

る書籍を読んでいたら、うろ覚えしろ、っていう論調のものってありませんか。あれと同じような形で記憶に残していきます。

覚え始めの頃、最初うろ覚えの状態は、記憶は不確かです。聞き始めて1時間たつころには、ほとんど、はっきりくっきり頭の中に浮かんでいるという感じです。

これは、脳の過疎性という性質が影響しています。脳の可塑性というのは、ゴムボールの形状記憶のようなものですね。ゴムボールを上から押さえつけると、すぐ、ぼよーんと戻りますが、紙粘土だと戻りません。

自動記憶によって繰り返し刺激を与えているのは、例えるならば紙粘土を上から手でぐっと押さえつけるようなもので、何度も同じ時に力を与えるので、形状が記憶されてしまうようなものです。頭の中でシナプスがつながった状態が、記憶が形成された状態なのですが、この状態を効果的に作ることができるということですね。

英語の勉強や数学、法律の論文試験には、自動記憶をあまり、推奨していません。英語に関しては誤解がかなりあるようですが、記憶術も絶対使ってはいけないし、自動記憶も使わないよう話しています。

※自動記憶は、理系には向いていないと書いてありましたが、
自動記憶が一番向いているのはなんなんですか。

どんな科目でも一定程度存在する丸暗記の箇所を記憶してしまうことに向いています。

その際には、やっぱり分解するということが大切になってきます。

一番最初に話した、記憶のポートフォリオのお話ですが、

一個目は、バケツの穴は最後にふさぐ、記憶のぬりえをするのが受験なんですけど、効率よく進めて

いくためには、バケツの穴つまり、覚えていないものを最後に穴をふさぐようにする。こういうことが大切です。

ところが、多くの受験生はこれを最初にやってしまう。

つまり、ベースになる記憶のぬりえを記憶もするし理解もするし・・・

ということを、同時にやりながらやっていくこと、やはり、効率よくやっていくことが重要なんですが、それをやらずに、とにかく、暗記、暗記、暗記といってやってしまいがちです。

いままで、どんな問題集をやって記憶を完璧にしましたか

というアンケートをしたことがあるのですが、〇〇〇〇（固有名詞は伏せました。）とか書いている人が多いんですね。だからまず、覚えて、その次に応用問題でしょと考えているんですけど、理解も記憶もやっぱり、同時にしてしまっ、ベースを100パーセント完璧にして、足りないものを、こういうところから、拾ってくるという形でやらないと、試験に通用する記憶の質ということ考えた時に、すごく

丸暗記の記憶が断片的にあって、しかも少ない、とそういう風になってしまいます。

僕の教え子は、1万項目くらいについて、高い記憶の質で覚えて、足りないものは、こういうもので補って、たくさん覚えてアタックしてます。こうすると、より多くの事を覚えることができるんですね。場合によっては数万項目でも記憶することができます。この際の、バケツの穴をふさぐ作業（記憶の取りこぼしをふさぐ作業）の際に、自動記憶は向いています。

その反対に新規にお子さんとか預かる場合ですね、見ると 2000 項目もあんまり覚えてないとかざらですね。ぜんぜん違うんですね。

まとめます。

自動記憶勉強法は、何に向いてますか。というお答えの 1 つは、丸暗記をするか所を記憶する、もう少し違う言い方をすると、バケツの穴をふさぐということですね。

2つ目はですね。

ヒントがあって想起するタイプのものは基本的には、使えますね。まず僕は、記憶を最初に分解することを進めているんですね。

たとえば、法律の試験や、簿記の試験など、これは、カードで覚えるのか、数学の問題を、教科書を読むように、覚えるのか、音声で覚えるのか、アウトプットして、白紙に出せるようにして再生記憶で覚えるのか、
まず分けることをする。

それをほとんどの人がしないから、学習全体を戦略的に組あわせることができないんです。だから、記憶に関するコンサルティングが多くの人にとって必要ですよ。というのはそういうところにあって、みんな問題集を最初からやって覚えてってしているから覚えられないですよ。

だから分けて、自動記憶で、処理するものとかカードで処理するものとか、分けてですね、それから、毎日赤色のチェックシートで処理していくものとかですね、記憶術のテクニックを組み合わせていくものとか、全部最初にわけますね。

たとえば中学生くらいだったら、はっきりいって自動記憶で処理できないものなんてないんで、だからやらなくても、最難関の学校に受かることも可能ですよね。僕は、決して推奨しないですけど、たとえば、一問一答とかですね、ありますし、空所補充型の問題も実質的には必ず、必ず、あるんですね。つまりヒントがですね。

たとえば、いきなり、試験が始まって、白紙の答案が配られてて、教科書でならったものを書けるだけ書きなさいって問題でないじゃないですか。

そうじゃなくって、ここの地域のとか、中学生だったら、どう呼ばれているかとか〇〇工業地帯とか、あったかもしれませんが、ここの山脈の名前は、とかなにか必ずヒントがあるわけじゃないですか。

それって高校に入ってもおんなじで、やっぱりその年代とか、人の名前とか、この人が書いたものはとか、作品名はとかありますよね。

そういう形で、ヒントがあって想起するタイプのものは基本的には、使えますね。

ところがこの自動記憶勉強法には、例外があるんですよ。

僕の中で、向いているかっていうのは、向いているけど、使うべきではないというのがあるので、いわないのですが、向いているかというだけでいうと、なんでもいけますよ。

言語系の科目と全部いけますよ。英語とか、古文とか、漢文とか、ただ漢文の句法とかは、カードで覚える方法がいいと思います。

それから、英語のフレーズとか、たとえば、英作文とか実質的には、日本語を英語の語順に直して英語の表現に直して、それで、自分の頭の中で、そのキーワードが英訳できたら英作文で出来るじゃないですか。

だからひとつの短文を3つくらいにわけて、実質的には覚えていってもいいんですよ。そういう覚え方をするのであれば、英作文でも使えます。そういう意味では、あんまり使えないというのはないですね。

基本的には、丸暗記するようなものは使えますから。ただ、丸暗記すべきでないものの中にはありますからね。たとえば、さっきいった言語系の科目ですね。

あと向かないものをいってくれと言われたら、その方が言いやすいですね。それは、なにかというと、視覚的なイメージをヒントにしているものです。たとえば、地理とか向いてないんですよ。なぜかというと、視覚的イメージは言語化できないからなんです。言語化できないから地図が出てきてあるからですね。それから、数学の図形問題などもですね。

でも、その言葉そのものがヒントになる場合はですね、たとえば、簿記の仕分けなどの、貸し方や借り方なんかですね、実質的には僕カードで覚えたんですけどね、あんなものも自動記憶でいけますね。言葉がヒントになるからですね。

※戦略を立てるってお話がありましたけど、自分でできますか、やっぱりコンサルティングしてもらわないとできないですよ。

私がやってる（主催している）慶応クラスという通信制の塾の場合は、まず、入塾したら計画を送ってもらうんですね。今、年がいくつで、どのくらいの偏差値で、何をやってきて、何をどれだけ完璧にしてきたかを全部リストアップしてもらうんですね。

これから、受かるためにどういう計画でいるかを書かせるんですね。それを、僕がみて、見た瞬間に受かるかどうか分かります。全体の50パーセントくらいは、計画がもう不合格になる計画になっている・・・そういう気がします。

そういう事情を良く知っているので、個人で学習計画を立てるのは難しいと思いますね。記憶に関する理論が頭の中にほとんど無いからです。もしも、学習計画を長期的にある程度きっちり立てるのであれば、ぜひ機械的記憶法（日本実業出版）を読んで

いただきたいと思います。

この本には、ある程度、詳しくどのような形で記憶作業を計画していくことが望ましいのか？ということを書きました。フローチャートの図による記憶の分解は必見です！

資格試験の受験生には特におすすめです。

受験生が戦略を立てるということは、難しいということですね。

そうですね。

難しいと思いますね。

さっきお話していた、シナプスの可塑性がねっとか言っている受験生がまずいないですし、それから、第2言語の習得についての研究とかも僕もずっとやっていますけど、論文形式の文を読みまくっている人もいるわけではありませんし、たとえば、ステーブングラシュエンという、南カリフォルニア大学の教授が提唱した仮説、人はインプットして言葉を

覚えるのか、アウトプットして覚えるのか学説とかですね、当然受験生は知らないからまず無理だと思います。

僕はそれが仕事だから教えますけど、理論だけじゃなくて、セミナーとかして、いろんなフィードバックもらって、知見も増やして、こういう状況で、こういうケースだったらこうしたほうがいと最終的な判断は出来ますけど、判断基準が頭がない人の場合、かなり難しいと思います。

そのため、カモにされている子多いと思いますよ。最初に書きましたけど、異常に合格率が高いとかですね。こうやればいいんだ的な事ですね。キミオリジナルなプランを立ててあげようとかあれなんて、どう思います??という意見が、勉強法最強化PROJECTを書くときにも出たんです。

私と、お医者さんと弁護士の3人でそのことについて相談しました。

マルチインテリジェンスというハーバード大学の教授が提唱してるようなものですが、あれって本当なの、どうなのっていうことについて話し合いました。

た。あれはたしかに本当ですよねって。

でもね、だからといって、イコール、それぞれみんな違う勉強をやるべきか???と、3人で話合いました。

その結果どういう結論になったかと言いますと、適正論ってあんまり行き過ぎると勉強本をかく意味がなくなりますねっていう話をして、あんまり適正論ということも言いたくないですし、実際、開成高校に通われていましたし、石原先生もだから周囲を見渡しても、東大生を見渡しても、適正論って果たしてどこまでいえるのかって、総合的に考えて、適正論ってそこまで重視しなくて、いいだろう、という話に落ち着きました

そして、私はスキルアップのコンサルタントですので、例えに出したのは、

「僕はムキムキになりたいです」

という男の子がいて、どうしたらいいですかって質問されて、僕は、腕立てふせが向いてると思うので、腕立て伏せをします。という子がいたとしても、やっぱり、筋肉を太くしていこうと考えた場合には、

12～13回くらいでオールアウトでこれ以上無理だっというくらいの適度の付加をかけて与えていかないと腕って太くならないと。

一生腕立て伏せをしても腕は太くなりませんからねと。

ここで起こっている問題は、適正の問題ではなくて、仕組みと原理の問題なんですよということをたとえに出して、お話をしました。

自動記憶勉強法の本には漫画が出てきますが、これは厳密にいうと自動記憶勉強法に含みますか？

含みません。

正直に申し上げますと、僕も本を書かせてもらっている以上、お得な情報を読者に提供しないとっと思って書いたけど、失敗した例ですね。

入れるべきではなかったですね。大変そのあたりは、賛否両論なんですね。

入れるべきではなかったと思います。でも、総合的に考えてこの本を使ってほしいという僕のメッセージだったんですけどね。それが、肯定的に受け入れられるか、否定的に受け入れられるかですね。

記憶術も自動記憶勉強法でもないですよ。

ちがいますよ。

記憶術も記憶術でひとつの有効な方法？

はい。

私は有効だと思いますね。問題は、その記憶術をどう使うかというところにあります。**多くのケースでは、記憶術を方法として、使おうとするから失敗**

します。あくまでも学習スキルの一つとしてどのように位置づけるかということが最優先で考えられないと単に損して終わりということになります。

バナナを朝に食べるというダイエットがあつて、これでは痩せられない、だからつまり、この朝バナナはつまらない方法なのである！！

ということにはならないのと同じです。

問題解決を図るとは根本的にどういうことなのか？ということに対する理解が無いと、方法で問題が解決するという風に勘違いを起こすんですね。なぜ人は情報を集めて失敗するのか？という本も書きましたが、そのあたりがしっかり分かっている人と分かっていない人がまだまだ多いように思います。

ですから、『この方法は効果がありますか？』

という風に考えてしまいます。でもこのような考え方には、何の意味もないんですね。このダイエット方法はききますか？という問いと同じですからね。

私が学習スキルなんてものがあるんだと知ったのはこの本にも書いてると思うのですが、伝説の東大生という方の本を手にとってですね。

その方はすごい面白かったのは、東大、京大、早稲田、慶応文系、理系全部合格していて、東大に2回合格していて、医学部に進学されていて、在学中に薬剤師、第1種国家公務員に合格していて、今はお医者さんされているのですが、予備校で全科目教えることのできるスーパーマルチ講師として活躍されてたちょっと

変態的に変わっていた人なんですが、その人が記憶術は絶対必要って書いていたんです。

まあ面白いこと書くなあと書いてですね。それから、私も記憶術に興味を持って試してみると見事に失敗して、いろいろ調べていくうちに、だいぶ実態がわかってきてというような経緯がずっと昔にありますね。

覚えることができる人と覚えることができない人の違いは何でしょうか？

最初から話しますね。大前提から話をさせてください。

つまりシナプスの可塑性というのは、粘土と同じと思っていた方がいいのですが、粘土って、紙粘土だと上からぐにゅと抑えると、へこんだままになるじゃないですか。で元に戻らないのを可塑性といいます。これは少し前にお話しましたね。

この状態を、作るためには、繰り返しが全体の8割くらいでこれをいかに、実行するかが大事です。

私がサポートする受験生によくいうのが、1日に勉強を15時間くらいしてくださいね！ということ。

最終的には記憶量で合否が決まるので、いかに、このシナプスの可塑性を十分に理解したうえで、ニューロンの結合量を増やしていくか??ただそれだ

けのゲームが受験ですね。でも多くの方はそう思えない。なぜならば、僕が受験する試験はこういう風にハイレベルであるからして、このハイレベルであるこの試験については・・・と考えてしまいます。

ただ、頭の中で起こっている原理的な現象というのは、試験が変わったからといって何も変わらないし、人がニューロンをどのように成長させるべきなのか？という点はどのような試験であっても同じように大切じゃないですか。そこを間違えるから、自分のハイレベルな試験に対応するハイレベル勉強法なるものがあると考えてしまいます。ハイレベルな試験に対応するハイレベル勉強法が存在するというのは、錯覚です。

高尚な勉強方法が存在すると思われている方は、ここでもう話を聞くのをやめていただくといいかと思うのですが、損をするだけです。

誰もが等しく同じような仕組みの脳を持っているし、原理的に頭の中で起こっているのは司法試験でも、英検3級でも同じくシナプスをつなげる作業です。

ハイレベルかどうかではなく、物理的に限界まで学習の効率が引き上げる脳の原理的な観点からの科学的な学習アプローチとは何か？と考察する方が、当然ですけど、妥当な考察ができますよね。そうしないと、こちらは京都大学の人の勉強法で、これやってたけど、東大の勉強法が出たからこっちに変えて、そうしたら東大法学部の勉強法が出たのでこれがいいと思います・・・とやって変えて、そう思ったら、東大の医学部の方がいいように思えてきて、これも変えて、そうしたらハーバードが出てきて、ハーバードの勉強が、世界大学ランキング的に考えるといいような気がしたので、変えて・・・ケンブリッジが今年是世界一なので、・・・もういいですね。

こういう風になります。このような考察って論理的か論理的ではないかというところ、非論理的だし、生産性が低い考え方ですよね。

そもそもが、各論的に考えることに意味がないんです。たくさん覚えるということがどういうことかという原理原則から論理的に考察していく必要があります。

頭のよさもあれなんですけど、記憶量があれば、合格できますので、要するに受験ってなんなんだということになった場合、記憶を作るのは、反復か、エピソード記憶しか、ありませんので、そして、反復をする時には、全体の勉強の8割くらいは反復をしている形になりますので・・・と考える必要があります。

結局は多く覚えることができるかどうかというのは、この8割の単調な作業をこなすことができるかどうか、なんですね。

私は仕事上いろいろな受験生とお付き合いをするので、いろいろなケースを知っているのですが、慶応大学の法学部を受験する受験生がいて、全統模試1位になるくらい優秀な子だったんですが、2回浪人しているですよ。

なんで落ちるんだろう??と思いますよね。よくよく聞いてみたら、ようは、やって忘れてやって忘れての繰り返しなんですね。

過去問ばかりをずっとやっているんですよ。それじゃあ永遠に受からないよっていうことをいって、

自分が覚えてないものを計画的に覚えこむことをしないと受からないよっという話をしたのですが、ご存知のように、たくさん覚えるのは結構難しいですね。目の前の500個の覚えるのは簡単なんですけど、500個覚えられる人が、1万項目、2万項目覚えられるかということ、やっぱり難しいですね。

でも、このシナプスの可塑性を十分に理解して、逆算して計画を立てればだれでも、覚えられるということ
なんですね。

この勉強方法に価値があるとすれば、(私は価値があると思っていますが) ガッツリやらなくても覚えられるからですね。(実質はですね) 最初に覚えこむ時間というのは、記憶に残すことを考えた上で、ぜんぜん重要ではなくて、その最初によんで、そこから、過剰気味に復習を与えて刺激を与えてやる。

シナプスの回路をつなげるために、電気的な刺激を与えてやるという事ですね。

その意味で、基本的に他のところで一般的に言わ

れていることとは、かなり違うと思います。

ようは、テクニックありきという事はうちは一切やっていないからですね。これも本当に、勉強法最強強化プロジェクトという本も、学習効果最大化論という書籍を作るつもりで作りましょう。と話たんです。

では、それは、何をもうて学習効果最大化といえるのかということは全部書いてあるんですけど、つまりは物理的に考えたら、たとえば、シナプスの結合量を増やすということもこれを物理的に考えたら、時間当たりの記憶の効果と密度を考えていかないといけなくてですね。

すみません。

もっとシンプルにしないといけないですね。時間当たりの記憶の密度を引き上げて、いかにこれを実行するかですね。

少し別の話をしましょう。たとえば、1日10時間ぐらい勉強しないと、私は最難関試験というのは受からないと思っています。

いろいろな子をいままで見てきましたが、やっぱり、コンスタントに10時間以上毎日勉強できる子が最難関というところに合格してるかなと思うんですよ。

それが、10時間ぐらいだったらぜんぜん長くないっていう話ですよ。大人だったら10時間以上ぜんぜん働いてますから、喜んで勉強しなさいよ（笑）っと私は受験生に言っています。

そうはいつでも、1日中机に向かって書きなぐったり、1日中音読したり、というのもきついで、体に負担がかからない自動記憶や頭に残りやすい記憶のテクニックとしての記憶術という、こういう方法も取り入れてみたらと僕は言うんです。

勉強法最強化プロジェクトを書いた弁護士の石原先生くらいがんばれる人だったら、朝から、晩まで、司法試験の論点ブロック集を覚えるために、書きなぐる生活ができるかもしれませんが、普通の人にはなかなか続かないです。1年間続けるのはきつい。石原先生がそういうことをズバっやってしまう優秀さがある方なんです。これはやはり他の人と比べる

と痛感します。

うちのクライアントのケースをお話しましょう。体の負担を取ることで成功したケースについてのお話です。少し前の部分でもお話しましたが、大阪大学の大学院に首席で合格した方がいらっしゃいます。

この方も1日中勉強する方なんですね。さすがに、ディクテーションやスピーキングとか朝から晩まで、大学の勉強時間以外、そういう勉強を一日中やるというのはちょっときついとという事でしたが、この自動記憶の方法を使っていたようです。彼のように、意識レベルの高い方でもやっぱり1日中の勉強（一日に15時間くらい）はきついと感ずるので、この勉強方法を選択されていたようです。

ねる時間と、ご飯を食べる時間以外は勉強しましょうといっても、きついという方もいると思います。長丁場ですし、そういう場合には使っていただいているのかなと思います。

あと、お勧めなのは、主婦の方とかですね。

洗濯ものをたたみたたみながらこういう方法で覚

えるのは、お勧めです。

うちのクライアントではないですが、こういう風に家事の時間を使って勉強を続けることで、弁護士になったんですね。その人がやっていたのは、勉強を分ける事。ようは、勉強の対象を、聞くのと、細切れ時間に覚えるのと、メインでがっつり勉強するのと、この3つにわけると。

そして、聞く勉強法というのは、食器洗いや、洗濯ものをたたんだりのときに講義などを聴いて勉強をしていたようですね。ただ、その聞き流しの勉強と、私が提唱している自動記憶や、記憶術を統合する学習方法は、本質的に違います。

(もっとも誤解が多いところです。)

少し英単語の記憶で例を挙げますね。

自動記憶勉強法では、英単語のほうだけを吹き込むんです。自動記憶勉強法の本を読んでもらったらわかりますが、訳は吹き込まないんです。

理由は大きく分けて2つあって、

1つ目は、検索練習効果。この検索練習効果というのは、頭の使い方の問題なんですけど、自分で想起するほうが頭に残るといいう研究データがあって、実際これは誰がやってもそうなのですが、こういう脳の性質があり、自動記憶はこの効果をフルに活用するものだからなんです。

2つ目は時間の密度を上げるためです。実際には自動記憶勉強法では、吹き込んで倍速再生するんですよ。

時間当たりの記憶の密度が最高になるようにやっぱり物理的に変えていくってことです。たとえば、日本語を吹き込んでいたら時間当たりの記憶の密度って高まらないですよ。

最終的には、吹き込んだ内容を聞いて、一瞬で、0.2.3秒くらいで想起して、それでももう少し聞くとということをするわけです。

普通に勉強をすると、勉強を進めていき、最後ま

できて、最初に戻ったら忘れていきます。だから、もう1周やり直すよね。しかし、前回の覚えこみの段階で、その人がたくさん時間がかかっていたのが、もっと短くなりますよね。覚えこみにかかる時間が短縮されるようになります。こうやってふつうは問題を記憶していきますが、自動記憶もこれと同じような形で記憶を作っていく形になります。

やり方としては、テキストが英単語帳だとすると、作業としては、覚えてないものをピックアップするところから始まるのでしょうか？

そうです。

吹き込み方としては、7~10くらいをひとつのかたまりにするのでしょうか。

そうです。

その際には、聞き流すのでしょうか？

聞き流すというのは違います。
想起するんです。

それだけに集中しなくてもいいんですか？
先ほど、洗濯物の話が出ましたが……。

そうです。
それだけに集中しなくてもいいです。

では、なぜそんな方法に価値があるのかというと、
やってみないとわからないんですけど、IC レコーダ
の強制力っていうのがあるんですね。

実際にやってみたらわかるというのは、ぜんぜん頑張らなくても記憶に残っていくという部分が体感できるからです。こんなのできるはずがない！という人は、大抵やっていないか、まったく違う事をやっている人ですね。

ものすごく損をしていると思いますし、タイトルなどに過剰に反応しすぎて、自分にとってのメリットを忘れてしまっているように感じます。大変残念です。

なぜ残念かと言いますと、記憶ができれば人生が変わるからです。あの資格があれば、この資格があれば・・・と考えている方は多いですよ。

こういう人のお手伝いを私はさせていただいています。彼らが合格した後に喜ぶのは、私にとっても最高の喜びです。やはり人間ですから、素直にうれしいものですよ。自分が関わった人がうまくいくのはですね。

まずは先入観を排してぜひ試していただきたいなと思います。

むしろ、あまり力が入らないほうがいいと
いうことも書いていますよね。？

そうですね。

リラックスして、というか、極端な話、不謹慎で
すけど、遊びながらも勉強ができてしまうので、
『いままで

僕がやってきたことは、いったいなんだったんでし
ょうか？』って質問をしてきた子も中にはいますね。

自分が進学校でシコシコ暗記をしてきたこと、そ
して暗記ができることによって、頭がいいと言われ
ることが、普通ですから、そういう事に対する価値
観が、ガラガラと少しだけ音を立てて崩れていくこ
ともあるようです。

そこはショックを受けないでいただきたいと私は
考えていますし、そうやって努力も含めて、数学の
問題を処理したりして、勉強ができるようになり、
周囲から認められることは、けっこうなことだと思
います。その意味で、この自動記憶があるから、今

までの勉強がなんだったのか？とショックをうけることはなく、成績が上がったら誇らしく思えばいいし、単に自分は他の人とは違った記憶に対する問題解決を図ったんだと考えていただければいいかなど考えています。

この勉強法のポイントは何回も何回も過剰気味に覚えこみをするということなのでしょうか？

そうです。

ひとつの大きなポイントは、実行率ということだと思います。

ただ実行率といわれると、一般的に考えられているのは、勉強できたらいいねっていうぐらいのものですよね。

ところが、本質的にはそうじゃないということがポイントで、じゃあお母さん子供に、1万項目、2万項目

覚えさせてっていったら覚えさせられますか。っていうところが、価値の本質的な部分だと思うんです

ね。

うちの子供なんて〇〇大学なんて無理とか、うちの子供なんてそんな勉強しない子だからとかよく言われる人いるんですよ。

でも、本質的な価値とは、勉強するとか、しないとかではなくて、目標達成するために大きな障害が取り除くことができるのか、出来ないのか、という、問題解決のソリューションのところが大きいです。

本当にハングリーで、絶対勉強して、人に負けるのは絶対いやだとか、自分が目標達成しないなんて、考えられないとか、そういう目標達成意欲の高い人っているじゃないですか。

でもそれは、社会学的にみて、育った環境とか、先天的な遺伝子とかの相互作用の結果で人格がつけられているので、そういう飛びぬけた目標達成の手段というのを投じることが出来なかったら運わるくそういう環境に育たなかったら、あなたはもうだめですね。というのは極端な話、ただ学問で社会学的

にみたらですね、環境要因と遺伝子的な相互作用の結果人格が出来るんだったら、仕方ないよねだったら、それで話が終わるじゃないですか。

つまりそれじゃ寂しいわけで、いかにして、モチベーションがそこまで高くなくても、一方でモチベーションを引き上げながら、一方で目標にささげる代償を引き下げて、実行できるような状態にもっていくかということが、一般的な人間の方からすると、僕は大きな価値だと思います。

それでもうひとつ、なぜそれが、そんなに難しいのというと、話を戻すとひとつは、理論が頭にはないんですよ。どうやったら、それだけの記憶をどんな人にでもつくり出すことができるのか、理論的な枠組みがないだから勉強というと頑張る、がんばらないという話になっていて、頑張るとか、がんばらないとかは関係ないよという話なんです、努力論になってしまっている。

もうひとつはこれですね。8割の繰り返しに絶えられない。ということですかね。

実質的には、多くの人が勉強をする際には、なにが起きているのかというと、ざるで水をすくうことをやっけて、記憶術を使おうが、ほかの方法を使おうが、結局、短期記憶に移したものを、長期記憶に移してないんですね。それを私は、ざるで水をすくうというんですが、結局そこからが一番おいしいところなんです、そこが出来ていない。

反復しかないんですね？

反復か、エピソード記憶ですね。

ただ、エピソード記憶というのも、一発必中ではないので実質的には、よっぽどうまくやらないと、記憶に残せないんです。

ここは、わかりにくい話です。勉強法最強化プロジェクトに説明してることですが、物理的にシナプスの結合量が最大化されるということはどういうこ

とかと考えていけば、なにが勉強の効果を最大なのかと漠然と考えるより、はるかにはっきりとするとというのがそもそものコンセプトになっているんです。

どうやったら、勉強の効果が一番高いんですか??ではなくて、どうやったらシナプスの結合量をもっとも、時間あたりに結合させることが出来ますか。それがきれないように出来ますかっということを書いた本ですね。

すみません。

あんまりおもしろくない方向に話がいきました。

それって効果ありますか。っていわれる事がよくあるんですけど、私は勉強のアプローチについて、効果って考えたことって一回もないんですよ。勉強のアプローチで、効果ってなんですかと僕は逆に思うことがあって、効果じゃないですよ。と、

つまり、物理的に今、学習対象の中の新しいことを覚えたらニューロンの結合しているんですよと、その結合量をどういう風に増やせばいいのかということですよ。

以上、このレポートの最後に、皆さまからいただいたご質問に対してお話をした際の内容を記載致しました。参考にしていただければ幸いです。

《執筆者 牛山 恭範 プロフィール》



- スキルアップコンサルタント
- 専門家集団Allabout スキルアップの担当ガイド
- 核要素時間の提唱者
- デジシステム 代表
- ヤフー(Yahoo)知恵袋 専門家回答者

スキルアップ(各種技術習得)のコンサルタントとして技術をどんな人にも習得させることを専門として活動する。

2009年7月20日、専門の研究分野である技術習得の書籍、目標達成論(エール出版社)で物理的な成長を可能にする核要素時間を発表。

技術習得の理論を応用しサービスを提供する事で、短期間で上位層0.1%(10000人中10位)の実力へ引き上げ、そのまま難関大学に合格させる、模試の結果が全てE判定(大手予備校模試結果)から慶應大学に合格させる、短期間で全国3位の成績まで引き上げる等の実績がある。

その他、速読を2時間で習得していただく、高速タイピングを高齢者の方に2週間でみにつけていただく、試験に時間が無くても合格など活動は多岐に渡る。

その他合格実績などの喜びの声は[こちら](#)

自分自身も技術習得の理論を応用した独自の学習法で、数万項目の記憶を頭に作り、慶應大学にほぼ満点でダブル合格する。

(その手法の一部は出版され本になり、売り切れの為現在改定増刷されました)

慶應義塾大学総合政策学部在学中に店舗経営で起業。剣道、空手、英語、速読、タイピング等、なぜ、技術を習得する人とできない人がいるのか？短期間で成長するチームの秘訣、共通点とは何か？どのような環境にあり、何を経験すれば技術を習得できるのか？失敗と成功の違いとは？など、技術の習得に関する周辺と、それを可能にする頭脳に関して研究を重ね現在に至る。教育事業として、日本初の記憶専門の塾である記憶塾、法律も含めた資格試験を受験する方向けの学習スキル向上専門予備校スキルアップ予備校を展開。

技術習得の過程を長年研究対象とし、短期間で確実な技術を習得させる事が専門。NLP（神経言語プログラム）行動心理学 行動科学マネジメントなどはもちろん、脳内での情報の処理過程、記憶過程、技能としての習得過程など、技術習得に関わる様々な環境が活動の範囲。

現在、ビジネスブレイクスルー大学大学院(MBAコース・修士課程)経営管理研究科在学中。
マッキンゼーの問題解決思考を上記大学院の学長である大前研一氏から直に学び、各種技術習得、及び、問

題解決型の学習コンサルティングに活かした活動を行っている。(記憶作業を単なる記憶方法とせず、記憶ができない事に対する本質的な問題解決と位置付け、サービスを提供。)

《研究テーマ》

どのような人でも【**短期間で確実な技術**】を習得していただく事を使命として研究テーマとしています。人の技術とは何か？を研究している私は、『こうしたらうまくいきました』というレベルの単なる成功事例情報とは一線を画す内容をご提供しているとの自負があります。単なる成功事例の背後には、ラッキーな環境や、本人の天性の素質、偶然うまくいった方法など多くの落とし穴があります。

これらを分析研究するのが私の仕事であり、何百という様々な分野の成功事例、失敗事例ラッキーな要因の共通点、才能があるのに失敗した共通点などを研究テーマとし、それを現実にフィードバックし、現実の最前線の現場で結果を出すところまでが私の仕事です。

論より証拠。学習カテゴリーの商品を試せば、塾や家庭

教師が必要なくなるでしょう。

お子様のやる気に関する教材は、唯一弊社の教材の中でその効果を絶対的なものとして、保証していません。

勉強のやる気に関しては、その人の育った環境が大きく関係しています。家庭での接し方や学校、教師、塾の環境、友人関係など多くの要因がある為です。

《著書》

■～慶應SFCほぼ満点ダブル合格の講師が解説する
～小論文技術習得講義

■～慶應SFCほぼ満点ダブル合格の講師が解説する
～小論文技術習得講義 増補改訂版

■自動記憶勉強法

■自動記憶勉強法 増補改訂版

■～なぜ人は情報を集めて失敗するのか？～目標達成論

■勉強法最強化PROJECT(弁護士・医師との共著)

■慶應大学絶対合格法

■慶應小論文合格バイブル

■機械的記憶法(日本実業出版)

■クラウド知的仕事術(日本能率協会マネジメントセンタ

一)

目標達成論は一部を無料で読む事ができます。

<http://maishu.kir.jp/book/f/index.htm>